

第19章 文化スポーツ局

※ 平成19年度まで教育庁が所管していた事業等を掲載。

第1節 組織

文化やスポーツは、人々の暮らしに潤いや生きがいをもたらす、豊かな感性や創造性を持った人づくり、魅力ある地域づくりの原動力になることから、文化・スポーツの教育的側面に配慮しつつ、本県の個性豊かな文化を再認識し、守り、伝え、はぐくみ、生かしていくため、平成20年度から知事部局（企画調整部文化スポーツ局）において所管し、全庁を挙げて総合的に展開することとした。

○ 文化スポーツ局 局長 森合 正典
次長 佐藤 正史
(～5月)
高野 浩二

	職名	課長等名
文化振興課	部参事兼課長	高野 浩二 (～5月)
	課長	大谷 英明
	総括主幹兼副課長	金子 達也 (～5月)
	主幹	関根 喜重次 土屋 広治 (～5月)
生涯学習課	部参事兼課長	山田 常雄
	主幹兼副課長	吉田 清一
スポーツ課	課長	国井 裕一
	主幹兼副課長	米沢 修志
	主幹	橘 和彦 (～7月)
		長岐 博 (8月～)

第2節 附属機関

1 福島県文化振興審議会

根拠法令 福島県文化振興条例(平成16年福島県条例第45号)

目的 福島県文化振興条例の規定に定められた事項を審議するとともに、知事の諮問に応じ、文化振興に関する事項を調査審議する。

(1) 福島県文化振興審議会委員

任期：平成22年11月7日～平成24年11月6日

氏名	役職名	備考
安部 なか	沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会事務局長	(公募)
佐々木 吉晴	いわき市立美術館参事兼副館長	
嶋原 明寿	福島県芸術文化団体連合会副会長	(副会長)
新城 希子	元福島県人事委員会委員長	
鄭 玄実	NPO法人ふくかんねっと理事長	
平田 公子	福島大学人間発達文化学類教授	
深谷 笑子	郡山女子大学家政学部准教授	
星野 珙二	福島大学共生システム理工学類教授	(会長)
溝口 俊夫	(財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団	

2 福島県生涯学習審議会

根拠法令 生涯学習の振興のための施策の推進体制の整備に関する法律(平成2年6月29日法律第71号)第10条及び福島県生涯学習審議会条例(平成3年10月5日条例第65号)

目的 生涯学習の振興に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項を調査・審議する。

(1) 福島県生涯学習審議会委員(第10期)

任期：平成22年2月18日～平成24年2月17日(五十音順)

氏名	役職名	備考
安部 かよ子	白河ユネスコ協会副会長	
磯上 久仁子	いわき市磐崎婦人会会長	副会長
伊藤 宏之	福島大学名誉教授	会長
岩下 哲雄	福島県社会福祉協議会副会長	
菊地 昌彦		(公募)
久保 美由紀	会津大学短期大学部准教授	
小松 真弓	NHK文化センター郡山支社長	
近藤 真紀子	NPO法人うつくしまふくしま子育て支援理事	
坂田 敦志	日本青年会議所福島ブロック副会長	
豊田 猛夫	日本銀行福島支店長	
中村 瑛子	福島レクリエーション協会人材開発・支援委員会委員長	
中山 恵理	郡山市美術館主任学芸員	
新田 実	雇用・能力開発機構福島センター訓練第一課長	
真船 義行		(公募)
渡辺 仁	福島県公民館連絡協議会会長	

3 福島県スポーツ振興審議会

目的 地方スポーツ推進その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する。

根拠法令 平成23年8月24日に施行したスポーツ基本法により、福島県条例を全面改正した。平成23年11月1日以降、名称も「福島県スポーツ推進審議会」となった。

- スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第31条及び福島県スポーツ推進審議会条例(平成23年福島県条例第87号)

(1) 平成23年度福島県スポーツ推進審議会委員 (平成23年11月1日現在)

任期 平成23年11月1日～平成24年8月31日

領域	氏名	役職名	備考
学識経験者	中澤 謙	公立大学法人会津大学文化研究センター准教授	
	白石 豊	国立大学法人福島大学教授	
体育団体代表	片平 俊夫	財団法人福島県体育協会副会長	
	菊池 辰夫	財団法人福島県体育協会スポーツ医・科学委員	
	増子 恵美	財団法人福島県障がい者スポーツ協会書記	
	安藤 まゆみ	NPO法人福島県レクリエーション協会理事	
	高橋 光子	福島県体育指導委員連絡協議会副会長	
	班目 秀雄	元JOCナショナルコーチ(自転車)	
	富田 昭夫	福島県高等学校体育連盟会長	県立福島高等学校長
	伊東 豊	福島県中学校体育連盟会長	郡山市立郡山第六中学校
	齋藤 道子	NPO法人うつくしまスポーツルーターズ事務局員	
	山崎 有理子	公立藤田総合病院栄養管理室長	
市町村・公益団体	加藤 憲郎	福島県町村会副会長	
	佐藤 俊市郎	福島県都市教育長協議会副会長	
	若狭 照子	会津若松商工会議所女性会会長	

公募	青木春弥	NPO法人さくらスポーツクラブクラブマネジャー	
	浅野文子	郡山インターナショナルスイミングクラブクラブ長	
	氏家美代子	会社員（川俣町体育指導委員）	

(2) 審議

平成23年度は、東日本大震災の影響により、未開催。

第3節 表彰

1 文化功労賞受賞者（2名）

芸術部門（美術）

佐藤 昭一

芸術部門（文芸）

鈴木 正治
（五十音順）

3 文化・スポーツ知事感謝状受賞者（4名）

文化部門

山邊 與夫

文化部門

渡邊 達英

スポーツ部門

小針 義孝

スポーツ部門

堀田 満

（部門別／五十音順）

2 第64回福島県文学賞受賞者（ ）本名

(1) 小説・ドラマ部門(5名)

準賞 「いのち」 そのべ あきら
（菌部 晃）

奨励賞 「創世異聞」 酒井 正二

奨励賞 「幻想夢譚」 服部 美南子

奨励賞 「時空を紡ぐ影たち」 オザワ カヲル
（小沢 薫）

青少年奨励賞 「森と河童と人間と」 菊地 美花

(2) エッセー・ノンフィクション部門(5名)

準賞 「季節のなかで」 田辺 賢行

準賞 「震災記三・一一」 松本 勝也
（菅野 勝也）

奨励賞 「十円のノートと五円の鉛筆」
宗像 哲夫

奨励賞 「波の彼方に何を見る」 鈴木 俊之

青少年奨励賞 「3・11～運命のあの日～」
野木 碧音

(3) 詩部門(3名)

文学賞 「山百合」 久間 カズコ

準賞 「春の海」 館山 智子

青少年奨励賞 「ふくしま2011」 星 結衣

(4) 短歌部門(4名)

文学賞 「被災地」 志賀 邦子

準賞 「師走の夕陽」 山本 圭子

奨励賞 「この地に生きる」 横田 敏子

青少年奨励賞 「こころのうた」 澤邊 稜

(5) 俳句部門(4名)

文学賞 「震災の日々」 古市 文子
（古市フミ子）

準賞 「立ねぶた」 蒲倉 琴子

奨励賞 「ふるさとの四時」 齋藤 茂樹

青少年奨励賞 「刹那」 和田 幸恵

4 体育・スポーツ関係

(1) 叙勲

氏名	役職名
山本 和子 (会津若松市)	福島県なぎなた連盟理事長
熊坂 寛 (福島市)	福島県バレーボール協会名誉会長

(2) 文部科学大臣表彰

ア 生涯スポーツ功労者表彰

氏名	役職名
石井 賢明 (田村市)	福島県ゲートボール協会会長

イ 優良団体

団体名	代表者
会津若松市 家庭バレーボール協会	高畑 京子 (会津若松市)

ウ 体育指導委員功労者

氏名	役職名
高橋 光子 (福島市)	福島県体育指導員連絡協議会副会長
安田 仙松 (川俣町)	川俣町体育指導委員会会長

(3) 体育指導委員表彰

ア 全国体育指導委員連合功労者表彰

No.	支部名	市町村名	氏名
1	福島	福島市	山崎 光彦
2	岩瀬	須賀川市	中山 豊子
3	西白河	西郷村	小針 孝廣
4	両沼	柳津町	二瓶 伸博

イ 全国体育指導委員連合優良団体表彰

No.	支部名	市町村名	氏名
1	西白河	白河市	白河市スポーツ推進委員会

ウ 全国体育指導委員連合30年勤続表彰

No.	支部名	市町村名	氏名
1	福島	福島市	森口 洋武
2	伊達	伊達市	石井 忠
3	安達	二本松市	斎藤 康雄
4	郡山	郡山市	柳沼 悧
5	西白河	矢吹町	小針 栄子
6	北会津	会津若松市	中嶋富美子
7	両沼	湯川村	芦澤 弥市
8	双葉	富岡町	宍倉 廣和
9	双葉	双葉町	新家 俊美

エ 東北地区体育指導委員協議会功労者表彰

No.	支部名	市町村名	氏名
1	東白川	棚倉町	近藤 崇
2	伊達	伊達市	石井 忠
3	北会津	会津若松市	田部 照男
4	田村	小野町	宗像 一久
5	耶麻	喜多方市	小林 芳信
6	西白河	白河市	中上 徹
7	相馬	南相馬市	小屋 進
8	両沼	柳津町	斎藤 早苗
9	郡山	郡山市	影山 信子
10	石川	古殿町	佐藤 弘信
11	福島	福島市	野田 恒夫
12	双葉	富岡町	千葉 梅子
13	安達	二本松市	杉内 貞夫
14	いわき	いわき市	鈴木 栄喜
15	北会津	磐梯町	高橋 富蔵
16	東白川	棚倉町	金澤 明徳

オ 福島県体育指導委員連絡協議会功労者表彰

No.	支部名	市町村名	氏名		
1	福島	川俣町	寺島 幸三		
2			吉田 洋子		
3			藤野 圭史		
4	伊達	伊達市	橋本美枝子		
5			佐藤 福次		
6			佐藤 幹雄		
7			佐々木章晶		
8			霜山 紀行		
9			佐々木孝志		
10			橋本 憲三		
11			大戸 ひで		
12			佐藤 信幸		
13			安達	二本松市	野里ゆり子
14					安斎美恵子
15					佐藤 幸枝
16	郡山	郡山市	佐藤 正洋		
17			大藤 勝見		
18			柳沼 寛		
19			岡部 純子		
20			遠藤 正一		
21			橋本ひろ子		
22			増子 善次		
23			鈴木 絹子		
24			関 秀隆		

No.	支部名	市町村名	氏 名
25	郡 山	郡山市	宗形 聖一
26			渡辺 正美
27	岩 瀬	天栄村	松崎 孝昭
28	西白河	白河市	宗像マキ子
29	東白川	棚倉町	山路美恵子
30			寺島千恵子
31		埴町	千葉 修一
32			金澤 正行
33			江田 恵子
34		北会津	猪苗代町
35	渡部 正人		
36	野口 美香		
37	耶 麻	喜多方市	細山 好明
38			蒲生 仁
39	両 沼	三島町	青木 正幸
40		柳津町	為田 敦
41			杉原 友一
42	南会津	下郷町	佐藤 公生
43	相 馬	相馬市	石田 富夫
44			菅野 真弘
45	いわき	いわき市	佐藤 淳子
46			新妻みゆき
47			滝澤 芳次
48			鈴木 一男

カ 福島県体育指導委員感謝状贈呈者

No.	支部名	市町村名	氏 名
1	郡 山	郡山市	柳沼 悞

(4) 財団法人福島県体育協会表彰

ア 優秀選手賞 (個人)

競技名	氏名	所属
陸上	攪上宏光	駒澤大学3年
〃	村上康則	富士通(株)
〃	渡辺真弓	東邦銀行
〃	五十嵐麻央	福島大学1年
〃	伊藤彩	福島大学1年
〃	青木沙弥佳	東邦銀行
〃	佐藤真有	東邦銀行
〃	田嶋和也	東海大学3年
〃	白井伶欧	北沢又RC(北沢又小6年)
〃	岡崎達也	福島成蹊高校1年
〃	坂下薫乃	福島市立福島第一中学校2年
卓球	佐藤匠海	富久山卓球クラブ(行健小2年)
〃	甚野道雄	トーアエイヨー(株)
〃	根本理世	中央大学2年
水泳	山口雅文	ミズノ株式会社
〃	加藤和	山梨学院大学3年
〃	小松桃子	湯本高校1年
〃	加藤樹	福島市立岳陽中学校2年
〃	遠藤太陽	福島成蹊高校3年
〃	吉田佳世	日本体育大学2年
〃	宗像康誠	郡山市立安積第三小学校6年
自転車	古河麻美	日本体育大学3年
〃	黒澤洋徳	日本大学3年
〃	緑川竣一	中央大学1年
〃	久保田元気	日本大学1年
〃	吉田優樹	学法石川高校2年
〃	金内一行	白河実業高校3年
〃	小酒大勇	平工業高校3年
〃	窪木一茂	日本大学4年
バドミントン	大堀麻紀	福島県バドミントン協会
〃	斉藤清人	相馬東高校 教員
〃	永井香代子	福島県バドミントン協会
〃	吉田邦男	福島県バドミントン協会
〃	遠藤夫美子	福島県バドミントン協会
〃	松居圭一郎	富岡高校2年
〃	桃田賢斗	富岡高校2年
〃	齋藤太一	富岡高校3年
〃	小林優吾	富岡高校1年
〃	大堀彩	猪苗代町立猪苗代中学校3年(富岡第一中)
〃	小林大吾	猪苗代町立猪苗代中学校2年(富岡第一中)

競技名	氏名	所属
バドミントン	光島理貴	猪苗代町立猪苗代中学校2年(富岡第一中)
〃	三橋健也	猪苗代町立猪苗代中学校2年(富岡第一中)
アマチュアボクシング	佐久間脩太	勿来工業高校3年
〃	須佐勝明	自衛隊体育学校
弓道	根本久美子	(株)日東発條
スキー	大山瑠	猪苗代高校3年
〃	渡部剛弘	猪苗代高校3年
スケート	野内俊吾	株式会社マツダレンタカー福島
馬術	杉本葵生	富里市立富里北中学校3年(小高中)
ウエイトリフティング	石幡和也	福島工業高校3年
〃	菅野真央	川俣高校3年
〃	熊川雄太	拓殖大学2年
〃	官野由佳	平成国際大学3年
〃	清野裕司	福島明成高校 教員
レスリング	井上佳子	クリナップ株式会社
〃	鈴木博恵	クリナップ株式会社
フェンシング	佐々木陽菜	福島成蹊中学校3年
〃	三浦菜都美	川俣高校3年
セーリング	高橋香	福島県セーリング連盟
アーチェリー	西田昌司	アストラゼネカ(株)
なぎなた	松村俊祐	大正大学4年
〃	渡部悠雅	会津若松市立鶴城小学校6年
〃	瀧澤李穂	会津若松市立謹教小学校5年
〃	古舘佳樹	会津若松市立鶴城小学校5年
〃	藤城瑛人	会津若松市立謹教小学校6年
〃	白石桃子	会津学鳳中学校3年
〃	佐藤里咲	会津若松市立第四中学校2年
〃	栗城桃	会津若松市立第一中学校3年
〃	石井晴菜	会津若松市立第三中学校3年
〃	佐藤初音	会津若松市立第三中学校3年
〃	鍋谷早智子	会津学鳳中学校3年
〃	松橋笑美花	会津学鳳中学校3年
ボウリング	伊藤丈	(株)東北装美
カヌー	小久保南海	二本松市立二本松第一中学校2年
〃	加藤純	加藤工務所
〃	宮田悠佑	鹿屋体育大学2年
〃	三浦翔太	専修大学2年
〃	菊地純一	専修大学4年
〃	久野綾香	(株)久野製作所
〃	中野友貴	筑波大学2年

競技名	氏名	所属
カヌー	野地裕太	二本松市立東和中学校3年
トランポリン	菊地智周	相馬市立向陽中学校3年
トライアスロン	鋤崎隆也	いわき光洋高校3年
〃	石塚祥吾	神奈川大学4年
陸上	佐藤智美	まちなか夢工房
車椅子バスケットボール	豊島英	
〃	佐藤聡	株式会社ダイユーエイト
水泳	佐藤健太	県立盲学校
陸上	鎌田悠暉	郡山萌世高校 定時制
〃	山ノ内みなみ	郡山萌世高校 通信制

イ 優秀指導者賞

競技名	氏名	所属
陸上	川本和久	福島大学 教授
ソフトテニス	森陽三	富岡町ソフトテニススポーツ少年団
卓球	深谷秀三	富久山卓球クラブ
水泳	小柳隆行	福島スイミングスクール
バドミントン	大堀均	富岡高校 教員
柔道	下山田恵一	田村高校 教員
〃	遠藤雅一	若松商業高校 教員
体操	山田智史	華舞翔新体操倶楽部
スキー	豊澤徹也	猪苗代高校 教員
ウエイトリフティング	渡部靖	川俣高校 教員

競技名	氏名	所属
柔道	遠藤瑛穂	郡山萌世高校 通信制
剣道	綿引聖	東日本国際大学昌平高校 通信制
バドミントン	古賀穂	猪苗代町立猪苗代中学校3年 (富岡第一中)
〃	高嶋道	猪苗代町立猪苗代中学校3年 (富岡第一中)
〃	林達也	猪苗代町立猪苗代中学校3年 (富岡第一中)
〃	濱北もも	猪苗代町立猪苗代中学校3年 (富岡第一中)
〃	東野有紗	猪苗代町立猪苗代中学校3年 (富岡第一中)
陸上	伊藤丈晃	福島市立福島第一中学校3年
〃	佐々木海帆	田村市立滝根中学校3年

競技名	氏名	所属
ウエイトリフティング	長南国彦	福島工業高校 教員
なぎなた	足立美香	会津学鳳中学校 教員
カヌー	軽部英敏	安達高校 教員
〃	山田博史	二本松市立東和中学校 教員
トランポリン	大谷芳生	相馬トランポリンクラブ
綱引	笠原則人	若宮スピリッツ
〃	内谷昌史	木幡べんてんJr
〃	小野田浩宗	ヤングブラザーススポーツ少年団
バドミントン	齋藤亘	猪苗代町立猪苗代中学校 (富岡第一中) 教員
陸上	武藤利教	福島市立福島第四中学校 教員

ウ 優秀選手賞（団体）

競技名	団体名	実績	績
陸上	福島県	第66回国民体育大会 陸上競技 少年成年共通4×100mリレー	第3位
〃	東邦銀行	第59回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 4×100mリレー	第1位
〃	東邦銀行	第95回日本選手権リレー競技大会 4×100mリレー	第2位
〃	東邦銀行	第95回日本選手権リレー競技大会 4×400mリレー	第2位
〃	東邦銀行	第59回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 団体総合	第3位
〃	東邦銀行	第59回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合	第1位
ソフトテニス	福島県男子選抜	第28回全日本小学生ソフトテニス選手権大会	第3位
自転車	福島県	第66回国民体育大会 自転車競技 4km団体追抜競走	第3位
〃	福島県	第80回全日本アマチュア自転車競技選手権大会 トラックレース4km団体追抜競走	第4位
バドミントン	富岡高校	平成23年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 男子団体	第3位
〃	富岡高校	平成23年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 女子団体	第3位
〃	福島県	第66回国民体育大会 バドミントン競技 少年男子	第1位
柔道	田村高校	平成23年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技	第3位
〃	福島県	第66回国民体育大会 柔道競技 少年男子	第4位
体操	華舞翔新体操倶楽部	第29回全日本ジュニア新体操選手権大会 男子団体	第3位
なぎなた	福島県	第66回国民体育大会 なぎなた競技 成年女子試合競技	第2位
〃	福島県	第52回都道府県対抗なぎなた大会 試合競技	第4位
カヌー	安達高校	平成23年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 女子カヤックペア500m	第4位
〃	福島県カヌー協会	平成23年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックペア500m	第4位
〃	東和中学校	平成23年度全国中学生カヌー大会 男子カヤックフォア500m	第3位
〃	福島県カヌー協会	平成23年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックフォア500m	第3位
〃	福島県カヌー協会	平成23年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックフォア200m	第4位
綱引	若宮スピリッツ	2011全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ユース480kg以下クラス	第1位
〃	木幡べんてんJr	2011全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ジュニア360kg以下クラス	第2位
〃	ヤングブラザースポーツ少年団	2011全日本ジュニア綱引選手権大会 ジュニア280kg以下クラス	第3位
福島県中学校体育連盟	猪苗代中学校	平成23年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 男子団体	第1位
福島県中学校体育連盟	猪苗代中学校	平成23年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 女子団体	第1位
福島県中学校体育連盟	福島第四中学校	平成23年度全国中学校体育大会 陸上競技 男子4×100mリレー	第3位

エ スポーツ功労賞

所属団体	氏名	市町村名
ソフトテニス	川島 登	福島市
ライフル射撃	佐藤 安弘	福島市
バドミントン	後藤 泰夫	福島市
柔道	宍戸 哲男	福島市
綱引	小野 健	福島市
グラウンド・ゴルフ	渡辺 末雄	郡山市
スポーツチャンバラ	中東 稔	郡山市
県北地域連合	佐藤 良平	大玉村
県中地域連合	坂本 守	郡山市
いわき市体育協会	坂本 満恵	いわき市

オ 特別賞

富岡町	東日本大震災の苦難にあっても、双葉地区教育構想により中高生の教育活動を支援し、バドミントン競技において全国中学校総合体育大会、全国高等学校体育大会、また、国民体育大会での優勝に導いた功績はまことに大である。
-----	---

第4節 文化

1 概要

(1) 文化活動の振興

ア 文化振興による地域づくりの気運の醸成

県全体の文化振興を図るため、平成21年度を「文化振興による地域づくり元年」と位置づけ、文化の光が新たな元気を生み出すという思いを込め、ふくしま文化元気ルネサンス大会において、「ふくしま文化元気ルネサンス宣言」を行った。

イ 芸術文化活動発表機会の充実

県総合美術展覧会、県文学賞の内容を充実し、作品の応募の奨励を図るとともに、文化団体が主体となり運営している県芸術祭の充実及び県高等学校文化連盟の育成・援助に努めた。

また、平成24年3月に第5回の声楽アンサンブルコンテスト全国大会を開催した。

ウ 芸術鑑賞の機会の確保

次世代を担う子どもの文化芸術体験事業等を実施し、優れた芸術鑑賞の機会の確保に努めた。

エ 文化振興基金の充実と活用

文化団体の育成と県民の自主的な文化活動の活発化を図るため、福島県文化振興基金の充実と活用を促進した。

(2) 文化施設の整備充実

県文化センターの震災の被害からの復旧を図るとともに、文化情報の収集・提供などの機能の充実に努めた。

2 文化活動の振興

(1) 芸術文化活動発表機会の充実

ア ふくしま文化の光フェスティバル

(ア) 趣旨

全国トップレベルにある県内の文化芸術活動の発表と鑑賞の場を設け、県内で行われている文化活動に対する理解を深める。

(イ) 期日

平成24年1月22日(日)

(ウ) 会場

喜多方プラザ

(エ) プログラム

- ・クラブスチアリーダーズ
- ・相馬宇多郷の神楽「御手神楽台敬神団」
- ・山木屋太鼓「山猿」
- ・東山温泉芸妓屋協同組合
- ・福島県立喜多方高等学校合唱部
- ・会津市民オーケストラ
- ・遠藤千晶
- ・結城奈央

イ ふくしま文化元気ルネサンスオータムキャンペーン

主に10～12月の期間中に県内各地で実施される文化行事をパンフレットに取りまとめ、集中的に広報を行った。

ウ 第64回福島県文学賞

(ア) 趣旨

県民から作品を公募して優秀作品を顕彰し、本県文学の振興と地方文化の進展を図る。

(イ) 応募数

小説・ドラマ66点、エッセー・ノンフィクション37点、詩57点、短歌53点、俳句70点、計283点

(ウ) 受賞者数種別

部門	種別	文学賞	準賞	奨励賞	青少年奨励賞	計
小説・ドラマ		0	1	3	1	5
エッセー・ノンフィクション		0	2	2	1	5
詩		1	1	0	1	3
短歌		1	1	1	1	4
俳句		1	1	1	1	4
	計	3	6	7	5	21

(エ) 審査委員

(小説・ドラマ)

松村 栄子、宍戸 芳夫、九頭見和夫

(エッセー・ノンフィクション)

八百板洋子、小野 浩、佐藤 洋一

(詩) 長田 弘、斎藤 久夫、長久保鐘多

(短歌) 小池 光、酒井 義勝、佐藤 文一

(俳句) 黒田 杏子、鈴木 正治、結城 良一

(オ) 企画委員

高見沢 功、嶋原 靖彦、齋藤 貢一、

遠藤 たか子、江井 芳朗、多田 勢子、

大谷 英明

エ 第65回福島県総合美術展覧会

(ア) 趣旨

県内及び県出身者から作品を公募して展覧し、本県美術の振興を図る。

(イ) 会期

日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書(5部門1期開催)

平成23年6月17日(金)～6月26日(日)

(東日本大震災により中止)

(ウ) 運営委員

青田道雄、安堵蒼樹、伊藤匡、岩崎道弘、大石尚

大谷英明、片野一、加藤美恵子、神野忠和

齋藤鶴龍、佐藤功、佐藤幸代、富田孝志

坂内憲勝、平原春嶺、渡邊重治 (五十音順)

オ 県芸術祭

県芸術文化団体連合会が主体となって9月から11月までの3か月間を開催期間として実施したが、東日本大震災などの影響により、主催行事は13行事、参加行事は33行事に止まった。

(7) 平成23年度福島県芸術祭行事参加状況（主催行事）

区分	行事名	開催月日	開催場所
開幕行事	東日本大震災・原発事故により中止	(9月4日)	(檜葉コミュニティセンター)
全県組織 行事	第39回福島県写真展	11月23日～11月27日	福島アクティブシニアセンター（アオセ）
	第65回福島県合唱コンクール	8月26日～8月28日	会津風雅堂
	第49回福島県吹奏楽コンクール	7月10・30・31日～ 8月1・2日	郡山ユラックス熱海 喜多方プラザ
	第28回福島県「現代吟詠のつどい」 in 田村大会	10月2日	田村市文化センター
	福島県吟剣詩舞道第45回大会	11月26日	郡山ユラックス熱海
	第59回福島県短歌祭	10月2日	グランパークホテルエセル福島恵比寿
	第47回福島県おかあさん合唱祭	10月9日	福島市ホテル辰巳屋
	第28回福島県声楽協会演奏会	11月5日	いわき市芸術文化交流館
	第37回福島県日本画協会展	10月19日～10月23日	福島県文化センター
	第23回福島県篆刻会展	11月13日～11月15日	福島アクティブシニアセンター（アオセ）
	第20回記念福島県日本画連盟展	10月25日～10月30日	福島県文化センター
	第35回福島県版画展	8月31日～9月4日	郡山市ふれあいプラザ
	第35回福島県書道連盟選抜展		誌上開催
	13行事		

(4) 参加行事

部門	区分	行事数	出演者数（点）数	来場者数
音楽		10	2,363	4,042
演劇		2	120	650
美術		10	1,397	16,289
文学		0	0	0
舞踊		2	212	1,660
総合		5	691	14,458
生活		4	223	668
その他		0	0	0
計		33	5,006	37,767

(2) 声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業

ア 趣旨

全国的に活躍している本県の合唱活動の更なる発展を図るため、継続的に全国規模のコンクールを開催し、「合唱王国ふくしま」を全国に発信する。

イ 第5回大会の開催

(7) 期日 平成24年3月22日（木）～25日（日）

(4) 部門 中学校部門・高等学校部門・一般部門

(9) 出演団体数111団体（推薦70団体、公募41団体）

中学校部門 37団体

高等学校部門 36団体

一般部門 38団体

(3) 新しい文化の風交流事業

ア 趣旨

本県で開催される全国規模の大会に出場する海外文化団体と県民との交流を行うとともに、ふくしま総文の開催を契機とした青少年と芸術文化団体との交流を通して本県文化活動の担い手を育成する。

イ 実施内容

(7) 海外文化団体との交流事業

海外合唱団との合同練習会等を通じた文化交流
実施団体 1団体

(4) 青少年と芸術文化団体との交流事業

「文芸（俳句）」のワークショップの開催
参加者数 86名

(4) (財)福島県文化振興基金事業の充実と活用

(財)福島県文化振興基金では、県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう個人又は文化団体等の活動に対する支援を行った。

また、文化活動に関し、優れた成績を収め、本県文化の普及・向上・保存及び伝承に貢献した個人及び団体を表彰した。

ア 助成状況

種別	件数(件)	金額(千円)
成果発表事業	49	4,807
発表会等への参加事業	9	2,700
文化団体への事業費	6	5,940
特認事業	0	0
文化財の保護事業	1	100
文化振興による地域づくり事業	1	300
伝統文化の保存・継承・発展事業	0	0
文化交流事業	0	0
計	66	13,847

イ 顕彰者(団体)

部門	氏名
美術	藤岡 昭夫【冬人】(絵画)
音楽	歌川 重雄(邦楽) 福島メール・ハーモニー(洋楽)
文学	酒井 義勝(短歌) 結城 良一(俳句)
生活文化	山田 登志美

敬称略。【】内は雅号。

第5節 生涯学習

1 概要

いつでも、どこでも、だれでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会、すなわち生涯学習社会を目指し、県民の学習活動を支援する県全域を対象とした総合的な広域的学習サービス提供システム「県民カレッジ(ふくしま学習空間・夢まなびと)」を運営・推進し、県民の学習活動を支援した。

また、第20回全国生涯学習フェスティバル成果継承事業である「福島こどものみらい映画祭」を開催することにより、学びの場及び成果発表の場の提供を行い、生涯学習活動の振興を図った。

さらに、福島に育つ青少年の「将来にわたる文化の担い手の育成」を図るため、「詩の寺子屋」を実施し、青少年の文化活動を促進した。

2 生涯学習の推進体制

(1) 福島県生涯学習審議会の開催

※東日本大震災の影響等により、中止。

3 生涯学習情報提供及び啓発

(1) 県民カレッジ(ふくしま学習空間・夢まなびと)の推進

県と市町村、高等教育機関、民間事業者及びNPO等市民団体とが連携し、様々な学習機会を体系化し、県民に提供する、県全域を対象とした総合的な広域的学習サービス提供システム「県民カレッジ」を運営・推進し、県民の学習活動に対する支援を行った。

ア 生涯学習情報提供システムの整備・運営

県内各地域におけるさまざまな生涯学習関連情報をインターネットにより一元的かつ効率よく提供し、県民の生涯学習活動を支援した。

アクセス状況 107,158件

ホームページアドレス

<http://www.yumemanabito.gr.fks.ed.jp/>

イ 主催講座の開催

・インターネット配信講座(e-夢・まなびと)

県民がいつでもどこでも学べるインターネットによる講座を配信した。

現代的課題・地域のすがたを学習する講座

31講座83回

・県民カレッジ人づくりセミナーの開催

受講者数 60名

ウ 連携講座

県と市町村、高等教育機関、民間事業者、NPO等市民団体の学習実施機関とが連携し、様々な講座を体系化し、提供した。

連携機関 139団体

提供講座数 1,046講座

(2) 学習成果の活用支援

県民の学習成果を様々な社会参加活動に活かす取組を支援する。

ア 学習記録手帳(夢まな時間通帳)の配布

県民カレッジでの学習内容を記録し、学習時間を単位として評価することにより、県民の継続的な学習活動を支援した。

配付数 7,204冊(平成24年3月まで累計)

(3) 学習情報交流誌「夢まなびと」の発行

県民カレッジの主催講座や連携講座を体系的に整理するなど、見やすい紙面で情報誌を作成し、県民が立ち寄る公民館や店舗等に配置・提供した。

- ・発行部数 10,000部
- ・配布先 ヨークベニマル県内全店舗(63)、市町村公民館(314)、県生涯学習施設(14)など

4 第20回全国生涯学習フェスティバルの成果継承

(1) 夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクトの実施

平成20年度に実施した「第20回 全国生涯学習フェスティバル」が一過性のイベントで終わることなく、開催後においても「ふくしま」らしい学び「共生・共学」の理念が受け継がれるよう、「夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト」を実施し、学びの場及び成果発表の場を提供し、生涯学習活動の推進を図った。

ア ふくしまシネマカルチャー総合講座

(福島こどものみらい映画祭)

- ・ふくしま映画塾

日時 平成23年10月8日(土)～10日(月)

会場 かんぼの宿いわき

撮影数 4作品

- ・シンボルイベント

日時 平成 23年11月19日(土)

会場 会津大学講堂

参加来場者数 480名

イ 福島の映像アーカイブ事業の実施

昭和の映像を活用した映画の制作

「福島8mmキネマ劇場」

ウ 子どもを守る知恵発信事業の実施

子育てに関する映像コンテンツの制作

追加コンテンツ数：30本

5 将来にわたる文化の担い手の育成

(1) 21世紀ふくしま文化担い手育成事業の実施

福島に育つ青少年は、将来にわたって豊かな文化を築く担い手としても期待される存在であることから、身近な地域や学校において、その地域で育まれてきた文化を始め、

多彩な文化に接する機会を拡充し、積極的、主体的に文化活動を行うことができるよう環境整備を図り、青少年の文化活動を促進した。

ア ふくしま文化少年倶楽部の開講

(詩の寺子屋)

- ・冬講座の実施

日時 平成24年1月7日(土)～8日(日)

会場 県男女共生センター

参加者数 20名

イ 伝統芸能交流会の開催

※東日本大震災の影響等により、中止。

6 東日本大震災の記録保存活用

(1) 東日本大震災時の資料の収集、保存、保管の推進

東日本大震災は、地震、津波、原子力災害、風評被害と日本がこれまで経験したことのない複合災害であり、これらかつてない体験、記録、記憶、教訓を次世代に継承することが必要であることから、資料の収集及び保存等を行った。

ア 震災体験等の証言の映像収録 107件

イ 写真・動画等 約5,000点

第6節 スポーツ

1 概 要

本県出身、あるいは本県にゆかりのある選手が、アジア・世界の舞台上で活躍を見せた。

まず、サッカー女子ワールドカップにおいて、元マリーゼの鮫島彩・丸山桂里奈両選手を擁するなでしこジャパンが優勝し、県民に元気・勇気・感動を届けてくれた。さらに、2012ロンドンオリンピックアジア最終予選でも、活躍し、見事予選を突破し、本選出場を決めた。

また、第26回ユニバーシアード競泳200m個人メドレーでは金メダルの加藤和（山梨学院大学3年）、アジア選手権レスリング女子67kg級では、井上佳子（クリナップ）が優勝、ANAアジアユースバドミントン選手権大会では、小林優吾・保木卓朗ペア（ともに富岡高校1年）が男子ダブルスで優勝、大堀彩（猪苗代中3年）が女子シングルスで優勝するなど、すばらしい活躍をみせた。

さて、社会が急速に変化する中、心身ともに健康な生活を送るためには、正しい生活習慣の定着と豊かなスポーツライフの実現が重要であり、より一層のスポーツの振興とさらなる健康教育の充実が求められている。

スポーツの振興については、平成22年3月に福島県スポーツ振興基本計画「ふくしまスポーツ元氣創造プラン」を策定した。本計画は、30年後を展望しながら、平成26年度までの5年間のスポーツ振興の指針となるもので、それを基に各種事業を展開している。

生涯スポーツに関しては、平成14年度にあづま総合体育館内に「うつくしま広域スポーツセンター」を、Jヴィレッジ内に「浜通り広域スポーツセンター」を、平成15年度には、玉川村たまかわ文化体育館内に「中通り広域スポーツセンター」を、平成16年度には、会津若松市ふれあい広場ふれあい体育館内に「会津広域スポーツセンター」を設置した。その後、平成17年度に「うつくしま広域スポーツセンター」を（財）福島県体育協会内に、平成18年度に「浜通り広域スポーツセンター」を富岡町教育支援センターにそれぞれ移転し、県内4つの広域スポーツセンターが中心となり、地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの育成・定着を図った。

また、競技力向上に関しては、本県競技力の維持・向上を図るために、ジュニア期からの長期的・計画的な指導を行う「競技力向上総合システム」の構築に向け、「陸上王国福島」基盤整備事業等の事業を実施し、一貫指導体制の確立を図っているところである。

2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興

○ 生涯スポーツ

県民の誰もが、生涯にわたってそれぞれの体力や年齢、興味関心、目的等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフを実現するため、「うつくしまスポーツプラン2010」に基づき、広域スポーツセンター事業を展開した。

具体的には、県北地区の市町村やクラブのサポートと各広域スポーツセンターの統括センター機能を併せ持つ、「うつくしま広域スポーツセンター」と浜通りの各市町村をサポートする「浜通り広域スポーツセンター」、県中地区と県南地区をサポートする「中通り広域スポーツセンター」、会津地区をサポートする「会津広域スポーツセンター」の4センター体制で、総合型地域スポーツクラブの創設・育成・定着の全県的展開を行ってきた。

中通り広域スポーツセンターは、平成22年3月末に閉所となり、平成22年度からは、うつくしま、会津、浜通りの3センターで、総合型地域スポーツクラブの創設と運営支援の事業に取り組むこととなったが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、浜通り広域スポーツセンターは、警戒区域内にあったことから、福島市内に避難し、うつくしま広域スポーツセンターに機能を移して支援活動を展開した。その後、平成24年3月22日（木）いわき市民プール事務所に「浜通り広域スポーツセンター仮設事務所」を開設した。その結果、平成24年3月末現在、県内48市町村に85の総合型地域スポーツクラブが立ち上がり、それぞれの地域で新たなスポーツ環境を提供しながら住民主導による活発な活動を展開している。

また、福島県版の総合型地域スポーツクラブ連絡協議会である「うつくしま総合型スポーツクラブユニオン」を平成22年3月7日に設立し、クラブのネットワーク化を図り、魅力あるクラブを目指している。

○ 競技スポーツ

本県の競技選手が国際大会や各種全国大会において活躍し、好成績を収めることを目的に、（財）福島県体育協会をはじめ、関係競技団体等と連携し、競技力向上体制の整備はもとより、指導者の養成・確保及び選手の育成・強化などに加え、発掘から強化までの一貫指導体制の確立を目指し、各種事業の推進に努めた。

しかし、一貫指導体制の発掘部分を担う「うつくしまスポーツキッズ発掘事業」は、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により子どもたちの屋外での活動が制限されるなどしたため、中止を余儀なくされた。

そんな中、駅伝等本県が誇るスポーツ財産をさらに大きく伸ばし、福島県を元気のある県とする方策として、昨年度より、①指導者育成事業、②地区別指導事業、③トップアスリートによる指導事業の3事業からなる、「陸上王国福島」基盤整備事業を実施するとともに、各競技の強化を担当する指導者のスキルアップを図る研修会を開催したり、競技団体のガバナンス及びマネジメントの強化のための研修会を実施するなど、競技力向上を図っている。

(1) スポーツ団体の状況

ア 財団法人福島県体育協会（平成23年度）役員一覧

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
顧問	本宿 尚	県バスケットボール協会名誉会長	理事	太田 豊秋	県馬術連盟会長・県クレイ射撃協会名誉会長
会長	佐藤 雄平	県知事	理事	渡辺 勝	県ゴルフ連盟会長
副会長	宗形 守敏	県ハンドボール協会名誉会長	理事	森崎 俊紘	県トライアスロン協会副会長
副会長	片平 俊夫	福島陸上競技協会会長	理事	橋 政弘	県北地域連合会副会長
副会長	御代田公男	いわき市体育協会（地域連合会）長	理事	安藤 喜勝	県中地域連合会長
副会長	富田 昭夫	県高等学校体育連盟会長	理事	櫻井 和朋	県南地域連合会長
副会長	杉山 純一	学識経験者（県議会議員）	理事	大橋 哲男	会津地域連合会長
専務理事	国井 裕一	県スポーツ課長	理事	猪股 純一	南会津地域連合会長
常務理事	菅野 泰典	県水泳連盟会長	理事	星 本文	県スポーツ少年団本部長
常務理事	佐藤 祀男	県バレーボール協会会長	理事	菊池 辰夫	学識経験者（県医師会）
常務理事	菅野 一治	県ウエイトリフティング協会会長	理事	佐藤 政隆	学識経験者（県議会議員）
常務理事	山本 和子	県なぎなた連盟理事長	理事	甚野源次郎	学識経験者（県議会議員）
常務理事	堀川 直人	相双地域連合会長	監事	須佐 喜夫	県テニス協会会長
常務理事	伊東 豊	県中学校体育連盟会長	監事	佐藤 英壽	県スケート連盟会長
常務理事	白石 豊	学識経験者（大学）	監事	深谷 秀三	県卓球協会会長
理事	渡部 孝美	県スキー連盟会長			

イ 財団法人福島県体育協会加盟団体の登録状況

(ア) 競技団体

団体名	登録人数	団体名	登録人数	団体名	登録人数
福島陸上競技協会	5505	ラグビーフットボール協会	768	ゴルフ連盟	324
野球連盟	16037	体操協会	342	カヌー協会	116
ソフトテニス連盟	8784	スキー連盟	586	ゲートボール協会	4423
テニス協会	2151	スケート連盟	50	少林寺拳法連盟	1060
サッカー協会	12115	馬術連盟	--	トランポリン協会	35
ハンドボール協会	1932	ソフトボール協会	5375	オリエンテーリング協会	63
卓球協会	8625	バレーボール協会	8590	パワーリフティング協会	6
剣道連盟	6104	ウエイトリフティング協会	105	ダンススポーツ連盟	924
ボート協会	186	レスリング協会	126	武術太極拳連盟	--
水泳連盟	1687	フェンシング協会	53	綱引連盟	350
自転車競技連盟	96	山岳連盟	15	トライアスロン協会	274
ホッケー協会	158	銃剣道連盟	1489	グラウンドゴルフ協会	4417
相撲連盟	81	クレイ射撃協会	50	野球協会	585
ライフル射撃協会	88	セーリング連盟	--	テコンドー協会	38
バスケットボール協会	12231	空手道連盟	923	バウンドテニス協会	398
バドミントン協会	5229	アーチェリー協会	144	ハンググライディング連盟	115
アマチュアボクシング連盟	32	なぎなた連盟	174	スポーツチャンバラ協会	968
柔道連盟	3492	アイスホッケー連盟	242	インディアカ協会	200
弓道連盟	2723	ボウリング連盟	207	福島県障がい者スポーツ協会	--
				合計	120791

(イ) 福島県スポーツ少年団

平成23年12月 現在

	市町村	団数	指導者数			団員数				市町村	団数	指導者数			団員数				
			計	男	女	計	小	中	高			計	男	女	計	小	中	高	
	県北支部									会津支部									
1	福島市	165	946	777	169	3,566	2,699	849	18	30	会津若松市	68	541	410	131	1,846	1,335	464	47
2	川俣町	15	121	107	14	290	214	74	2	31	磐梯町	4	17	11	6	84	71	8	5
3	桑折町	11	67	60	7	245	195	47	3	32	猪苗代町	15	192	146	46	489	419	60	10
4	伊達市	52	359	290	69	1,108	897	206	5	33	会津坂下町	26	115	88	27	496	393	98	5
5	国見町	8	58	51	7	193	155	38	0	34	湯川村	4	29	29	0	83	75	7	1
6	二本松市	46	418	327	91	1,215	988	223	4	35	柳津町	2	50	42	8	161	74	87	0
7	大玉村	6	44	41	3	137	137	0	0	36	会津美里町	12	91	79	12	330	271	59	0
8	本宮市	30	204	170	34	647	532	110	5	37	三島町	4	19	16	3	62	52	10	0
	計	333	2,217	1,823	394	7,401	5,817	1,547	37	38	金山町	1	15	15	0	29	27	2	0
										39	喜多方市	48	249	193	56	1,229	885	340	4
	県中支部									40	北塩原村	4	41	36	5	114	93	21	0
9	郡山市	140	1,144	993	151	3,796	3,141	614	41	41	西会津町	9	43	38	5	200	145	55	0
10	三春町	16	136	114	22	313	270	40	3		計	197	1,402	1,103	299	5,123	3,840	1,211	72
11	小野町	12	55	44	11	236	222	14	0										
12	田村市	34	263	225	38	672	591	68	13		南会津支部								
13	須賀川市	35	261	224	37	987	819	147	21	42	南会津町	26	192	164	28	765	502	258	5
14	鏡石町	8	36	28	8	237	203	34	0	43	下郷町	9	58	47	11	167	110	52	5
15	天栄村	1	19	15	4	75	75	0	0	44	桧枝岐村	1	5	5	0	35	31	4	0
16	石川町	9	74	64	10	230	217	11	2	45	只見町	7	56	50	6	178	118	59	1
17	玉川村	4	33	29	4	133	100	33	0		計	43	311	266	45	1,145	761	373	11
18	平田村	6	40	36	4	84	77	7	0										
19	浅川町	2	42	36	6	126	126	0	0		相双支部								
20	古殿町	3	20	15	5	49	42	7	0	46	広野町	1	61	50	11	130	106	24	0
	計	270	2,123	1,823	300	6,938	5,883	975	80	47	檜葉町	8	50	40	10	129	97	32	0
										48	富岡町	17	117	98	19	383	271	104	8
	県南支部									49	川内村	4	13	8	5	70	34	36	0
21	棚倉町	17	107	91	16	403	334	67	2	50	大熊町	9	67	61	6	357	249	103	5
22	塙町	10	89	79	10	250	196	54	0	51	双葉町	8	70	63	7	186	107	78	1
23	矢祭町	2	6	6	0	40	30	10	0	52	浪江町	22	111	104	7	413	288	122	3
24	鮫川村	5	22	19	3	86	83	2	1	53	葛尾村	1	18	13	5	38	30	7	1
25	白河市	43	344	295	49	1,131	852	278	1	54	新地町	14	84	78	6	253	152	89	12
26	西郷村	22	106	96	10	415	295	120	0	55	相馬市	34	174	150	24	679	437	235	7
27	中島村	6	27	26	1	105	88	13	4	56	南相馬市	76	409	326	83	1,370	993	342	35
28	矢吹町	7	53	47	6	225	182	43	0	57	飯館村	6	24	23	1	122	83	39	0
29	泉崎村	5	36	32	4	144	110	34	0		計	200	1,198	1,014	184	4,130	2,847	1,211	72
	計	117	790	691	99	2,799	2,170	621	8										
											いわき支部								
										58	いわき市	172	772	602	170	3,548	2,625	910	13
											平成23年度合計	1,332	8,813	7,322	1,491	31,084	23,943	6,848	293
	役職員	合計	市町村役職員数	県役職員数							平成22年度	1,332	8,813	7,322	1,491	31,084	23,943	6,848	293
		390	366	24							比較(※)	—	—	—	—	—	—	—	

※ 本年度の登録数は、東日本大震災の被害県に対する日本スポーツ少年団登録の特別措置（平成22年度登録をしている場合、本年度の登録申請ができなくともスポーツ少年団活動は通常通り認めること）により、平成22年度の登録数と同様になります。

ウ スポーツ安全協会傷害保険加入状況

この傷害保険は、スポーツ及び社会教育活動の普及・振興に寄与することを目的として、昭和46年に事業を開始して以来、現在（2012年3月）では約30万団体、979万人の人々が加入する世界に類のない大型保険である。本県の加入者は、5,479団体、147,407人で全人口の13.3%となっている。誰でも安心してスポーツ活動や社会教育活動に専念できるよう、なお一層普及に力を注いでいく必要がある。

(2) 第64回福島県総合体育大会

東日本大震災の影響により、スポーツ少年団体育大会及び県民スポーツ大会の開催を見合わせ、実施可能な国民体育大会・東北総合体育大会選手選考会のみで開催であった。

大会は県内21市町村において、34競技を実施し、約12,000名が参加した。

ア 国体・東北総体選手選考会

No.	競技名	開催市町村	期日	会場	参加人数
1	陸上競技	福島市	7/14(木)～17(日)	あづま総合運動公園陸上競技場	1,300
2	軟式野球	白河市	6/18(土)・19(日)・26(日)	白河グリーンスタジアム・天狗山球場	407
3	ソフトテニス	福島市	6/18(土)～19(日) 7/8(金)～10(日)	あづま総合運動公園テニスコート（一般・成年） 〃（少年）	877
4	テニス	天栄村 会津若松市	7/9(土)～11(月)	羽鳥湖高原レジーナの森テニスコート（少年男女） 会津総合運動公園テニスコート他（成年男女）	695
5	サッカー	中止			
6	ハンドボール	石川町	7/9(土)～11(月)	石川町総合体育館・石川高校体育館	576
7	卓球	本宮市 猪苗代町	7/10(日) 7/19(火)～21(木)	本宮市総合体育館 猪苗代町カメリーナ（少年男女）	693
8	剣道	中止			
9	ボート	喜多方市	7/1(金)～3(日)	県営荻野漕艇場	231
10	水泳	郡山市	7/30(土)～31(日) 7/30(土)	郡山カルチャーパークプール（競泳） 郡山カルチャーパークプール（飛込）	708
11	自転車競技	いわき市 西郷村	7/6(水)～9(土) 7/10(日)	いわき市平競輪場 東京女子医大セミナーハウス発着周回コース（ロード）	106
12	ホッケー	棚倉町	7/10(日)	ルネサンス棚倉多目的広場	136
13	相撲	会津坂下町	7/10(日)	中央相撲場	102
14	ライフル射撃	福島市 二本松市	7/9(土) 7/10(日)	県警察学校拳銃射撃場（CP） 二本松市総合射撃場内ライフル棟	142
15	バスケットボール	田村市 郡山市	7/3(日)・9(土)・10(日)	田村市総合体育館 県南地区高校体育館	1,794
16	バドミントン	郡山市 二本松市	7/2(土)～3(日) 7/8(金)～9(土)	磐梯熱海アイスアリーナ体育館（成年男女） 二本松市城山体育館（少年男女）	675
17	ボクシング	伊達市	7/9(土)～10(日)	伊達市保原体育館	76
18	柔道	いわき市	7/17(日)	好間中学校体育館	362
19	弓道	中止			
20	ラグビーフットボール	猪苗代町 会津若松市 白河市	5/28(土)～29(日) 6/4(土)～5(日) 6/12(土)・26(日)	猪苗代町営陸上競技場（少年） 会津大学グラウンド（少年） 白河市日本工機(株)白河製造所グラウンド（成年）	514
21	体操	郡山市 会津若松市	6/10(金)～12(日)	日大東北高校第二体育館（体操） 鶴ヶ城体育館（新体操）	329
22	スキー	猪苗代町	H24. 1/18(水)～22(日)	猪苗代スキー場・昭和の森クロスカントリーコース	397
23	スケート	郡山市	11/20(日) 12/10(土)	磐梯熱海アイスアリーナ（フィギュア） 磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場（スピード）	127
24	馬術	中止			
25	ソフトボール	福島市 会津若松市 玉川村 白河市	6/18(土)～19(日) 6/26(日) 7/9(土)～10(日)	福島市十六沼公園スポーツ広場（成年男子） 会津若松市総合運動公園（成年女子） 玉川村民グラウンド（少年男子） 東風の台運動公園グラウンド	1,097

No.	競技名	開催市町村	期 日	会 場	参加人数
26	バレーボール	郡山市		*少年男女は実施せず	247
			7/9(土)～10(日)	郡山高校(成年男女6人制)	
				*成年男女9人制は実施せず	
27	ウエイトリフティング	福島市	7/9(土)～10(日)	福島明成高校武道場	122
28	レスリング	南会津町	7/9(土)～10(日)	田島高校体育館(成年・少年男子)	94
29	フェンシング	川俣町	7/10(日)	福島商業高校第二体育館	103
30	山 岳	郡山市	6/26(日)	郡山市トレイルロック(成年・少年男女)	83
31	銃 剣 道	中 止			
32	クレー射撃	二本松市	7/10(日)	二本松市総合射撃場(成年男子)	50
33	セーリング	猪苗代町	7/9(土)～10(日)	翁島マリーナ(成年・少年男女)	32
34	空 手 道	中 止			
35	アーチェリー	福島市	7/9(土)～10(日)	あづま総合運動公園第二多目的運動広場	90
36	なぎなた	会津若松市	7/10(日)	鶴ヶ城体育館(成年・少年女子)	158
37	アイスホッケー	郡山市	11/12(土)～13(日)	磐梯熱海アイスアリーナ(成年・少年男子)	125
38	ボウリング	福島市	5/29(日)	からしまボウル福島	63
39	ゴルフ	石川町	5/19(木)	福島石川カントリークラブ	100
40	カヌー	二本松市	6/5(日)	阿武隈漕艇場コース(スプリント)	101
			6/12(日)	阿武隈川島山コース(スラローム・ワイルドウォーター)	
41	ゲートボール	中 止			
42	少林寺拳法	中 止			
43	トランポリン	中 止			
44	オリエンテーリング	中 止			
45	パワーリフティング	中 止			
46	ダンススポーツ	中 止			
47	武術太極拳	中 止			
48	トライアスロン	中 止			
49	綱 引	中 止			
50	グラウンド・ゴルフ	中 止			
51	バウンドテニス	中 止			
52	ハング・パラグライダー	中 止			
53	スポーツチャンバラ	中 止			
54	テコンドー	中 止			

イ スポーツ少年団体育大会

東日本大震災の影響により開催していない。

ウ 県民スポーツ大会

東日本大震災の影響により開催していない。

(3) 第38回東北総合体育大会

第38回東北総合体育大会は、東日本大震災の影響により、宮城県内6市7町1村、福島県内1市、青森県内3市1町岩手県内2市、秋田県内5市1町及び山形県内3市で開催された。

本県選手団は、本部役員15名、監督・選手743名が参加した。今回、国体ブロック大会となる競技・種別・種目のみ実施のため、競技ごとの総合順位は決定しなかった。（陸上競技、レスリング、自転車、相撲、ゲートボールは未実施）

主会期 平成23年8月26日(金)～28日(日)

No.	競技名	競技期間	派遣場所	派遣人数
1	水球 (水球)	7/30～31	山形県市 山形県総合運動公園屋外プール	12
2	ボート	7/16～17	宮城県市 宮城県長沼ボート場	36
3	カヌー (スラローム・ワイルドウォーター)	7/23	福島県市 阿武隈川カヌースラローム・ワイルドウォーター競技場	5
	カヌー (スプリント)	7/17	宮城県町 鳴瀬川カヌーレーシング競技場	17
4	ボウリング	7/16～17	宮城県町 ボウルジャンボフォルテ	16
5	ゴルフ	6/23	宮城県村 花の杜ゴルフクラブ	4
7	サッカー	8/12～14	秋田県市 TDK秋田総合スポーツセンターサッカー場 仁賀保グリーンフィールド	49
8	テニス	8/20～21	宮城県市 仙台市泉総合運動公園泉庭球場 シエルコムせんだい	8
9	ホッケー	8/20～22	秋田県町 羽後町多目的運動広場 秋田県立羽後高等学校グラウンド	71
10	ボクシング	8/26～28	宮城県市 東北学院大学土樋キャンパス体育館	13
11	バレーボール	8/27～28	宮城県市市 東北福祉大学体育館 尚綱学院大学体育館	52
12	体操競技	7/16～18	秋田県市 能代市総合体育館	15
	新体操	7/9～10	秋田県市 秋田県立武道館	
13	バスケットボール	8/27～28	宮城県市 白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)	39
15	ウエイトリフティング	8/20	宮城県町 宮城県柴田高等学校体育館	10
16	ハンドボール	8/25～27	秋田県市 湯沢市総合体育館 秋田県立湯沢高等学校体育館 湯沢市立湯沢北中学校体育館	52

18	ソフトテニス	8/27~28	宮城 仙台	仙台 城台	宮城 県市	仙台市青葉山公園庭球場	21
19	卓球	8/27~28	青森 青森	青森 森森	青森 県市	青森大学正徳館	15
20	軟式野球	8/27~28	山形 山形	山形 形童	山形 県市市	山形市野球場 山形県総合運動公園野球場	16
22	馬術	8/27~28	青森 十和田	青森 和田	青森 県市	十和田馬術協会馬術競技場	11
23	フェンシング	8/27~28	宮城 仙台	宮城 城台	宮城 県市	宮城県仙台第三高等学校体育館	11
24	柔道	8/27	青森 三	青森 森沢	青森 県市	三沢市武道場	14
25	ソフトボール	8/20~21	秋田 由利	秋田 本荘	秋田 県市	由利本荘市ソフトボール場	55
26	バドミントン	8/26~27	秋田 秋田	秋田 田田	秋田 県市	秋田県立体育館	12
27	弓道	8/20~21	宮城 仙台	宮城 城台	宮城 県市	宮城県近的弓道場・宮城県遠的弓道場	16
28	ライフル射撃	8/27~28	宮城 石	宮城 城巻	宮城 県市	宮城県ライフル射撃場	11
29	剣道	8/21	宮城 加	宮城 城美	宮城 県町	陶芸の里スポーツ公園加美町総合体育館	18
30	ラグビーフットボール	8/19~21	青森 青森	青森 森鱒	青森 県町	大鱒あじゃら公園ラグビー場	46
31	山岳	7/30~31	岩手 盛	岩手 手岡	岩手 県市	岩手県営運動公園登はん場	9
32	アーチェリー	8/28	宮城 登	宮城 城米	宮城 県市	宮城県米谷工業高等学校グラウンド	15
33	空手道	8/27	宮城 仙台	宮城 城台	宮城 県市	東北工業大学高等学校体育館	8
34	銃剣道	8/21	宮城 美	宮城 城里	宮城 県町	宮城県南郷高等学校体育館	4
35	クレール射撃	7/31	宮城 村	宮城 城田	宮城 県町	宮城県クレール射撃場	6
36	なぎなた	8/28	宮城 大	宮城 城崎	宮城 県市	大崎市岩出山体育センター	5
38	アイスホッケー	12/3~4 12/10~11	宮城 大	宮城 城和	宮城 県町	ベルサンピアみやぎ泉	36

(4) 国民体育大会

ア 第66回国民体育大会

第66回国民体育大会において、本県は、冬季・本大会に558名の選手団を派遣し、男女総合成績第40位727点、女子総合40位387点の成績であった。

陸上競技、水泳、バドミントンにおいて優勝するなど活躍が見られた。

なお、参加状況、競技成績については、下記のとおりである。

(ア) 参加状況

大会	区分	会 期	開 催 地	団 長	参 加 競 技 数	派 遣 人 数			
						役 員	監 督	選 手	合 計
冬 季 大 会	スケート アイスホッケー 競技会	H23. 1/26(水) ～1/30(日)	青 森 県 八 戸 市	佐藤 憲保	2	10	5	30	45
	スキー競技会	H23. 2/12(土) ～2/15(火)	秋 田 県 鹿 角 市	渡部 孝美	1	10	10	47	67
本 大 会		H23.10/1(土)～10/11(火) (水泳:9/7(水)～15(木)) (体操:9/9(金)～15(木)) (クレー射撃:9/11(日)～15(木))	山 口 県 山 口 市 他	宗形 守敏	34	17	68	361	446

(イ) 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
冬 季 大 会	スケート競技会	3.0点	10点	13.0点	24位	3.0点	10点	13.0点	19位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	10位	—	—	—	—
	スキー競技会	15.0点	10点	25.0点	12位	5.0点	10点	15.0点	13位
本大会		309.0点	370点	679.0点	39位	79.0点	280点	359.0点	40位
合計		327.0点	400点	727.0点	40位	87.0点	300点	387.0点	40位

(ウ) 入賞状況

a 冬季大会

スケート競技		競技得点	3.0点	天皇杯	24位	皇后杯	19位
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名		所 属	
少 年 女 子	スピード 2000mR	6	3	福島県			
				渡 邊 唯	郡山商業高等学校	3年	
				吾 妻 優	郡山商業高等学校	3年	
				佐 藤 万 純	郡山商業高等学校	3年	
				古 川 栞 有	郡山商業高等学校	1年	
平 泉 絵 理	郡山商業高等学校	1年					

スキー競技		競技得点	15.0点	天皇杯	12位	皇后杯	13位
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名		所 属	
成 年 女 子 B	ジャイアントスラローム	5	4	田 部 井 裕 美		沼 尻 高 原 ロ ッ ジ	
少 年 男 子	ジャイアントスラローム	3	6	大 山 瑠		猪 苗 代 高 等 学 校 2 年	
成 年 男 子 C	クロスカントリー個人	8	1	金 丸 哲		ゴ ー ル ド リ ン ク	
成 年 女 子 B	クロスカントリー個人	8	1	宗 像 千 佳		郡 山 自 衛 隊	
少 年 男 子	コンバインド	6	3	渡 部 剛 弘		猪 苗 代 高 等 学 校 2 年	

b 本大会

陸上競技		競技得点 51.0点		天皇杯 14位		皇后杯 11位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属		
成年男子	1500m	1	8	村上 康 則	富士通(株)		
	やり投げ	7	2	山田 啓 太	茨城茗友クラブ		
成年女子	100m	3	6	渡辺 真 弓	東 邦 銀 行		
	400m	5	4	佐藤 真 有	東 邦 銀 行		
	100mH	5	4	伊藤 彩	福島大学 1年		
少年男子A	走幅跳	2	7	五十嵐 麻 央	福島大学 1年		
	三段跳	4	5	山下 航 平	橘高等学校 2年		
少年男子B	走幅跳	5	4	岡崎 達 也	福島成蹊高等学校 1年		
少年男子共通	5000mW	4	5	管野 智 文	白河旭高等学校 3年		
成年少年女子	4×100mR	3	6	熊坂 真 央	福島成蹊高等学校 1年		
				渡部 美 来	会津学鳳高等学校 3年		
				佐藤 真 有	東 邦 銀 行		
				渡辺 真 弓	東 邦 銀 行		

水泳競技		競技得点 32.0点		天皇杯 22位		皇后杯 11位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属		
成年女子	200m個人メドレー	1	8	加藤 和	山梨学院大学 3年		
少年男子A	200mバタフライ	6	3	遠藤 太 陽	福島成蹊高等学校 3年		
	400m自由形	8	1	遠藤 太 陽	福島成蹊高等学校 3年		
少年女子B	100m自由形	2	7	小松 桃 子	湯本高等学校 1年		
	100mバタフライ	8	1	小林 千 桜	福島高等学校 1年		
成年男子	飛板飛込	8	1	小林 和 真	筑波大学 2年		
成年女子	高飛込	3	6	吉田 佳 世	日本体育大学 2年		
	飛板飛込	4	5	吉田 佳 世	日本体育大学 2年		

なぎなた競技		競技得点 21.0点		皇后杯 8位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属
成年女子	試合競技	2	21	武藤 小 夜 子 新田 葵 菅原 比 呂 美	県文化スポーツ局スポーツ課 福岡大学 4年 福島県なぎなた連盟

柔道競技		競技得点 25.0点		天皇杯 10位		皇后杯 14位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属		
少年男子		4	25	丸山 勇 輝 古市 隼 士 大堀 直 也 室井 雄 太 大和田 巧	東日大昌平高等学校 3年 好間高等学校 3年 田村高等学校 3年 田村高等学校 3年 田村高等学校 3年		

剣道競技		競技得点 12.5点		天皇杯 14位		皇后杯 16位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属		
成年男子		5	12.5	三田 大 輔 原田 賢 治 田崎 智 春 武藤 士 津 夫 浦井 善 一	若松商業高等学校 福島県警察 日本大学東北高等学校 福島県警察 安積高等学校		

弓道競技		競技得点 6.0点		天皇杯 27位		皇后杯 20位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属		
成年男子	近的	7	6	先 崎 裕 佐 藤 圭 太 渡 邊 英 史	(株)三洋鉄工所 折 笠 農 園 日進火災インシュアランス(株)		

馬術競技		競技得点 16.0点		天皇杯 18位		皇后杯 23位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属		
成年男子	馬場馬術競技	5	4	中 島 悠 介	ヘレナ国際乗馬倶楽部		
	自由演技馬場馬術	4	5	中 島 悠 介	ヘレナ国際乗馬倶楽部		
少年	馬場馬術競技	8	1	宮 野 将 太 郎	勿来工業高等学校 2年		
	自由演技馬場馬術	8	1	宮 野 将 太 郎	勿来工業高等学校 2年		
	スピードネスハンディネス	6	3	杉 本 葵 生	富里北中学校 3年		
	標準障害飛越	7	2	杉 本 葵 生	富里北中学校 3年		

レスリング競技		競技得点 7.5点		天皇杯 42位			
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属		
成年男子	グレコローマンスタイル74kg級	5	2.5	渡 部 友 章	(株)クリナップ		
少年男子	フリースタイル50kg級	5	2.5	湯 田 光	田島高等学校 2年		
	グレコローマンスタイル96kg級	5	2.5	猪 股 樹 希 亜	田島高等学校 2年		

セーリング競技		競技得点 2.0点		天皇杯 26位		皇后杯 20位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属		
成年女子	国体ウインドサーフィン級	7	2	乗 富 麻 美	ダイキン工業(株)		

カヌー競技		競技得点 12.0点		天皇杯 29位		皇后杯 26位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属		
成年男子	スプリント・カヤックシングル500m	3	6	宮 田 悠 佑	鹿屋体育大学 2年		
少年男子	スプリント・カヤックシングル200m	5	4	紺 野 勇 一	安達高等学校 3年		
少年女子	スプリント・カヤックシングル200m	7	2	菅 野 由 香 里	安達高等学校 2年		

バドミントン競技		競技得点 24.0点		天皇杯 5位		皇后杯 14位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属		
少年男子		1	24	齋 藤 太 一	富岡高等学校 3年		
				桃 田 賢 斗	富岡高等学校 2年		
				松 井 圭 一 郎	富岡高等学校 2年		

アマチュアボクシング競技		競技得点 10.5点		天皇杯 20位			
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属		
成年男子	ウェルター級	5	2.5	齋 藤 晶	拓殖大学 2年		
	ミドル級	5	2.5	齋 藤 健 司	拓殖大学 2年		
少年男子	バンタム級	3	5.5	佐 久 間 脩 太	勿来工業高等学校 3年		

ボウリング競技		競技得点 15.0点		天皇杯 19位		皇后杯 21位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属		
成年男子	個人	3	6	伊 藤 丈	(株)東北装美		
	2人団体	6	9	伊 藤 丈	(株)東北装美		
					遠 藤 邦 男	インテリア・エンドー	

ウェイトリフティング競技		競技得点 32.0点		天皇杯 16位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属
成 年 男 子	56kg級スナッチ	7	2	吉 田 真 弘	平 成 国 際 大 学 3年
	56kg級C&J	6	3	吉 田 真 弘	平 成 国 際 大 学 3年
少 年 男 子	62kg級C&J	7	2	黒 江 雄 治	福 島 明 成 高 等 学 校
	77kg級スナッチ	5	4	石 幡 和 也	福 島 工 業 高 等 学 校 3年
	77kg級C&J	2	7	石 幡 和 也	福 島 工 業 高 等 学 校 3年
	94kg級スナッチ	3	6	菅 野 真 央	川 俣 高 等 学 校 3年
	94kg級C&J	5	4	菅 野 真 央	川 俣 高 等 学 校 3年
	105kg級スナッチ	7	2	吉 田 恭 平	平 工 業 高 等 学 校 3年
	105kg級C&J	7	2	吉 田 恭 平	平 工 業 高 等 学 校 3年

バスケットボール競技		競技得点 12.5点		天皇杯 15位		皇后杯 13位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属		
少 年 男 子		5	12.5	山 岸 玲 太	福 島 商 業 高 等 学 校	3年	
				東 海 林 健 悟	福 島 商 業 高 等 学 校	3年	
				ニッセン ヒカリ	福 島 商 業 高 等 学 校	3年	
				水 野 優 斗	福 島 商 業 高 等 学 校	3年	
				田 崎 凌	清 陵 情 報 高 等 学 校	2年	
				中 畑 大 樹	清 陵 情 報 高 等 学 校	3年	
				八 代 匠	清 陵 情 報 高 等 学 校	2年	
				加 藤 祐 樹	福 島 工 業 高 等 学 校	3年	
				奥 井 駆	福 島 工 業 高 等 学 校	3年	
				白 井 直 也	田 村 高 等 学 校	3年	
				山 田 寛 貴	田 村 高 等 学 校	2年	
	矢 沢 直 斗	若 松 商 業 高 等 学 校	2年				

自転車競技		競技得点 30.0点		天皇杯 9位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属
成 年 男 子	ポイントレース	2	7	窪 木 一 茂	日 本 大 学 4年
	個人ロードレース	6	3	窪 木 一 茂	日 本 大 学 4年
少 年 男 子	1kmタイムトライアル	8	1	小 酒 大 勇	平 工 業 高 等 学 校 3年
	4km速度競走	8	1	金 内 一 行	白 河 実 業 高 等 学 校 3年
男 子	4km団体追抜競走	3	18	窪 木 一 茂	日 本 大 学 4年
				久 保 田 元 気	日 本 大 学 1年
				我 妻 優 弥	日 本 大 学 1年
				緑 川 竣 一	中 央 大 学 1年

イ 第67回国民体育大会

第67回国民体育大会冬季大会スケート競技会では、男女総合成績第20位、スキー競技会では男女総合第18位の成績を収め、冬季大会における男女総合成績は、第24位で本大会に引き継いだ。

(ア) 参加状況

大会	区分	会 期	開 催 地	団 長	参 加 競技数	派 遣 人 数			
						役 員	監 督	選 手	合 計
冬季大会	スケート アイスホッケー 競技会	H24. 1/27(金) ～2/1(水)	岐 阜 県 愛 知 県	佐藤 英壽	2	9	6	34	49
	スキー競技会	H24. 2/14(火) ～2/17(金)	岐 阜 県 高 山 市	渡部 孝美	1	9	8	46	63

(イ) 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		10.0点	10点	20.0点	20位	10.0点	10点	20.0点	16位
アイスホッケー競技会		0.0点	10点	10.0点	11位	—	—	—	—
スキー競技会		4.0点	10点	14.0点	18位	3.0点	10点	13.0点	13位
合計		14.0点	30点	44.0点	24位	13.0点	20点	33.0点	19位

(ウ) 入賞状況

a 冬季大会

スケート競技		競技得点 10.0点		天皇杯 20位		皇后杯 16位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名		所 属	
少年女子	スピード 1500m	4	5	水 澤 彩 佳		郡山商業高等学校	1年
	スピード 3000m	7	2	水 澤 彩 佳		郡山商業高等学校	1年
	スピード 2000mR	6	3	古 川 栞 有		郡山商業高等学校	2年
				古 川 幸 樹		尚志高等学校	1年
				平 泉 絵 理		郡山商業高等学校	2年
				水 澤 彩 佳		郡山商業高等学校	1年

スキー競技		競技得点 4.0点		天皇杯 18位		皇后杯 13位	
種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名		所 属	
成年女子B	クロスカントリー	6	3	宗 像 千 佳		郡山自衛隊	
少年男子	ジャイアントスラローム	8	1	菊 地 拓 也		若松商業高等学校	1年

(5) 第24回全国スポーツ・レクリエーション祭

広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実施する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に資することを目的として開催された。(全国スポーツ・レクリエーション祭は、本祭典をもって終了となる)

参加状況

期 日 平成23年11月5日～8日(4日間)

会 場 栃木県内各施設

参加者 本部役員7名・監督・選手等174名 計181名

No.	種 目 名	会場地	人数	No.	種 目 名	会場地	人数
1	グラウンド・ゴルフ	矢板市	10	10	年齢別ソフトテニス	栃木市	8
2	ゲートボール	さくら市	16	11	バウンドテニス	真岡市	6
3	壮年サッカー	宇都宮市	18	12	年齢別バドミントン	宇都宮市	8
4	ソフトバレーボール	宇都宮市	9	13	壮年ボウリング	宇都宮市	4
5	女子ソフトボール	那須塩原市	17	14	マスターズ陸上競技	宇都宮市	19
6	ラージボール卓球	日光市	5	15	インディアカ	鹿沼市	10
7	ターゲット・バードゴルフ	市貝町	4	16	フォークダンス	小山市	10
8	男女混合綱引	大田原市	11	17	エアロビック	那須町	6
9	年齢別テニス	宇都宮市	6	18	トランポリン	栃木市	7

(6) 各種共催行事(スポーツ課関係)

行 事 名	主 催 者 名	場 所
第64回福島県総合体育大会	福島県総合体育大会実行委員会	県内各地
第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	福島民報社	白河市～福島市
第5回市町村対抗福島県軟式野球大会	市町村対抗福島県軟式野球大会実行委員会	県営あづま球場

(7) 平成23年度国際大会出場選手一覧

No.	競技名	出場大会名	氏名 (所属)	開催場所	期間	種目・成績
1	トライアスロン	ITUアジアカップ・スービックベイ大会	菊池 日出子 (宇都宮村上塾)	フィリピン スービックベイ	4/30	2位
2	トライアスロン	ITUアジアカップ・ソウル大会	菊池 日出子 (宇都宮村上塾)	韓国 ソウル	5/15	1位
3	レスリング	アジア選手権	井上 佳子 (クリナップ)	ウズベキスタン タシケント	5/19 ~22	女子67kg級 1位
4	カヌー	2011ピースタニー国際カヌーレガッタ	小久保 南海 (二本松一中)	スロバキア ピースタニー	5/27 ~29	15歳以下の部 女子カヤックシングル 500m、1000m 7位
5	サッカー	U-17ワールドカップメキシコ大会	松本 昌也 (JFAアカデミー福島)	メキシコ	6/18 ~7/10	ベスト8
6	陸上競技	第19回アジア陸上競技選手権 兵庫・神戸大会	青木 沙耶佳 (東邦銀行)	日本 神戸	7/7 ~10	400m 6位 4×400mR 1位
7	自転車競技	ツール・ド・ラビティビ2011	久保田 元気 (日本大学1年)	カナダ ケベック	7/19 ~24	個人ロード・レース 62位
8	自転車競技	2011ユニバーシアード	窪木 一茂 (日本大学4年)	中国 深?	8/16 ~19	3万mポイントレース 4位
9	自転車競技	2011ジュニアトラック世界選手権	久保田 元気 (日本大学1年)	ロシア モスクワ	8/17 ~21	ポイントレース 18位
10	自転車競技	自転車トラックワールドカップ	新田 祐大 (日本競輪選手会)	カザフスタン アスタナ	11/5	ケイリン 11位
11	自転車競技	自転車トラックワールドカップ	渡辺 一成 (日本競輪選手会)	カザフスタン アスタナ	11/6	スプリント 15位
12	なぎなた	第5回世界なぎなた選手権大会	松村 俊祐 (大正大学4年)	日本 兵庫県姫路市	7/2 ~3	男子個人戦 出場
13	レスリング	世界選手権	井上 佳子 (クリナップ)	トルコ	9/16	67kg級 3位
14	ボクシング	第21回プレジデントカップ	須佐 勝明 (自衛隊体育学校)	インドネシア	7/8	フライ級 1位
15	バレーボール	FIVB ワールドリーグ インターコンチネンタルラウンド	酒井 大祐 (JTサンダース)	ポーランド	5/27 ~7/1	15位
16	水泳(競泳)	第26回ユニバーシアード競技大会水泳競技	加藤 和 (山梨学院大学)	中国 深?	8/15	200m個人メドレー 優勝 400m個人メドレー 4位 800mリレー 8位
17	セーリング	第26回ユニバーシアード競技大会	高橋 香 (福島県セーリング連盟)	中国 深?	8/12 ~23	レーザーラジアル級12位
18	陸上競技	第26回ユニバーシアード競技大会	攪上 宏光 (駒沢大学)	中国 深?	8/21	ハーフマラソン 個人4位 団体1位
19	トライアスロン	アジア選手権 チャイニーズタイペイ	菊池 日出子 (宇都宮村上塾)	チャイニーズタイペイ イラン	9/23	エリート女子 7位
20	トライアスロン	アジア選手権 チャイニーズタイペイ	石塚 祥吾 (神奈川大学)	チャイニーズタイペイ イラン	9/23	U23男子 3位
21	トライアスロン	アジア選手権 チャイニーズタイペイ	鋤崎 隆也 (いわき光洋高校3年)	チャイニーズタイペイ イラン	9/23	U19男子 17位
22	トライアスロン	ワールドカップ	菊池 日出子 (宇都宮村上塾)	ニュージーランド ・オークランド	11/20	エリート女子 22位

23	レスリング	サンキスト国際オープン大会	鈴木 博恵 (クリナップ)	アメリカ アリゾナ州メサ	10/29	72kg級 1位
24	バドミントン	タンカスアルファマートオープン2011	小林 優吾 (富岡高校1年)	インドネシア ジャカルタ	6/27 ~7/3	シングルス 小林優吾 2回戦敗退 ダブルス 小林優吾・五十嵐優(埼玉栄) ベスト8
25	バドミントン	タンカスアルファマートオープン2011	大堀 彩 (猪苗代中学校(富岡第一中学校)3年)	インドネシア ジャカルタ	6/27 ~7/3	シングルス 大堀彩 2回戦敗退 ダブルス 大堀彩・星千智(金沢向陽) 3回戦敗退
26	バドミントン	2011年アジアユースU19バドミントン選手権大会	桃田 賢斗 (富岡高校2年)	インド ラックナウ市	7/2 ~7/10	男子シングルス 3位
27	バドミントン	ANAアジアユースバドミントン選手権大会	小林 優吾 (富岡高校1年)	千葉県千葉市	10/5~9	男子ダブルス 1位
28	バドミントン	ANAアジアユースバドミントン選手権大会	保木 卓朗 (富岡高校1年)	千葉県千葉市	10/5~9	男子ダブルス 1位
29	バドミントン	ANAアジアユースバドミントン選手権大会	大堀 彩 (猪苗代中学校(富岡第一中学校)3年)	千葉県千葉市	10/5~9	女子 シングルス 1位
30	バドミントン	ANAアジアユースバドミントン選手権大会	古賀 穂 (猪苗代中学校(富岡第一中学校)3年)	千葉県千葉市	10/5~9	男子 シングルス 2位
31	バドミントン	世界ジュニアバドミントン選手権	桃田 賢斗 (富岡高校2年) 齋藤 太一 (富岡高校3年) 早川紗保里 (富岡高校2年)	台湾桃園	10/28 ~11/6	団体 5位(桃田賢斗、齋藤太一、早川紗保里)
32	バドミントン	世界ジュニアバドミントン選手権	桃田 賢斗 (富岡高校2年)	台湾桃園	10/28 ~11/6	男子 シングル 第3位
33	バドミントン	第10回日韓ジュニアバドミントン競技会U-16	古賀 穂 (猪苗代中学校(富岡第一中学校)3年) 大堀 彩 (猪苗代中学校(富岡第一中学校)3年) 濱北 もも (猪苗代中学校(富岡第一中学校)3年)	大韓民国 光州市 光州体育学校	11/29 ~12/2	ダブルス 古賀穂・渋谷勇希(山形県・鶴岡一) 2敗 古賀穂・下農走(大阪府・大東中) 1敗 シングルス 古賀穂 3敗 ダブルス 大堀彩・山口茜(福井県・勝山南部中) 3敗 濱北もも・荒木茜羽(埼玉県・埼玉栄中) 3敗 シングルス 濱北もも 3勝 大堀彩 3勝
34	バドミントン	マカオオープン2011	桃田 賢斗 (富岡高校2年)	中国 マカオ特別行政区	11/29 ~12/4	シングルス 2回戦敗退
35	アイスホッケー	2012世界U20アイスホッケー選手権	佐藤 永和 (明治大学1年)	ポーランド	12/12~ 12/18	1勝4敗
36	水泳(競泳)	FINAワールドカップ2011第1戦 UAE	山口 雅文 (ミズノ)	UAE	10/7~8	50m 背泳ぎ 優勝 100m 背泳ぎ 優勝 100m個人メドレー 第4位 200m個人メドレー 第4位
37	水泳(競泳)	FINAワールドカップ2011第1戦 UAE	加藤 和 (山梨学院大学)	UAE	10/7~8	200m個人メドレー 優勝 400m個人メドレー 優勝

38	水泳(競泳)	FINAワールドカップ2011 第2戦 ヨーロッパ	加藤 和 (山梨学院大学)	スウェーデン	10/15 ~16	200m個人メドレー 2位 400m個人メドレー 2位
39	水泳(競泳)	FINAワールドカップ2011 第3戦 ヨーロッパ	加藤 和 (山梨学院大学)	ロシア	10/18 ~19	200m個人メドレー 第2位 400m個人メドレー 優勝
40	水泳(競泳)	FINAワールドカップ2011 第4戦 ヨーロッパ	加藤 和 (山梨学院大学)	ドイツ	10/22 ~23	200m個人メドレー 第4位 400m個人メドレー 優勝
41	水泳(競泳)	FINAワールドカップ2011 第5戦 アジア	山口 雅文 (ミズノ)	シンガポール	11/4~5	50m背泳ぎ 第3位 100m背泳ぎ 第4位 100m個人メドレー 第4位
42	水泳(競泳)	FINAワールドカップ2011 第6戦 アジア	山口 雅文 (ミズノ)	中国	11/8~9	50m背泳ぎ 第4位 100m背泳ぎ 第5位 100m個人メドレー 第5位
43	水泳(競泳)	FINA競泳 ワールドカップ東京2011	山口 雅文 (ミズノ)	東京	11/12 ~13	50m背泳ぎ 第3位 100m背泳ぎ 第6位 100m個人メドレー 第3位
44	ボクシング	2011世界選手権	須佐 勝明 (自衛隊体育学校)	アゼルバイジャン	9/22 ~10/10	2回戦敗退
45	レスリング	モンゴル国際オープン大会	井上 佳子 (クリナップ)	モンゴル ウランバートル	1/14	67kg級 第1位
46	レスリング	ヤリギン国際オープン大会	鈴木 博恵 (クリナップ)	ロシア クラスノヤルスク	1/28	72kg級 第5位
47	スキー	世界ジュニア選手権大会	渡部 剛弘 (猪苗代高校)	トルコ エルズルム	2/20 ~26	複合
48	自転車競技	アジア選手権	渡辺 一成 (日本競輪選手会)	マレーシア クアラルンプール	2/12	ケイリン 3位
49	自転車競技	アジア選手権	新田 祐大 (日本競輪選手会)	マレーシア クアラルンプール	2/12	ケイリン 4位
50	自転車競技	自転車トラックワールドカップ	渡辺 一成 (日本競輪選手会)	ロンドン ベロドローム	2/17	ケイリン 5位
51	自転車競技	自転車トラックワールドカップ	新田 祐大 (日本競輪選手会)	ロンドン ベロドローム	2/17	ケイリン 13位
52	自転車競技	自転車トラックワールドカップ	渡辺 一成 (日本競輪選手会)	ロンドン ベロドローム	2/17	チームスプリント 8位
53	自転車競技	自転車トラックワールドカップ	渡辺 一成 (日本競輪選手会)	ロンドン ベロドローム	2/19	スプリント 7位

スタッフ等

1	バスケット ボール競技	第9回FIBA U-19 女子バスケットボール 世界選手権大会	萩原 美樹子	チリ プエルトモン	7/21 ~31	
---	----------------	---------------------------------------	--------	--------------	-------------	--

※以下は本県ゆかりの選手

No.	競技名	出場大会名	氏 名 (所 属)	開催場所	期 間	種目・成績
1	サッカー	FIFAワールドカップドイツ2011	鮫島 彩 (プレーカーズ)	ドイツ	6/26 ~7/17	1位
2	スピード スケート	ワールドカップ アスタナ 大会	穂積 雅子 (ダイチ)	カザフスタン アスタナ	11/25	3000m 7位
3	スピード スケート	ワールドカップ ヘーレン フェイン大会	穂積 雅子 (ダイチ)	オランダ ヘーレンフェイン	3/2	3000m 4位

(参考)国際大会出場選手数(平成10年度~平成23年度)

年度	人数	年度	人数
平成10年度	27	平成17年度	44
平成11年度	22	平成18年度	49
平成12年度	50	平成19年度	53
平成13年度	44	平成20年度	64
平成14年度	32	平成21年度	73
平成15年度	29	平成22年度	101
平成16年度	28	平成23年度	57

(出場選手数は延べ人数)

3 体育・スポーツ施設

(1) 体育・スポーツ施設の管理及び利用状況

県営体育施設の効率的活用と施設管理の万全を期し、もって地域スポーツの振興を図るため、当該施設設置市町村等に管理を委託した。

ア 施設管理一覧

施設名	所在地	管理方法	受託者	摘要
福島体育館	福島市	事務委託	福島市	昭和49年4月1日より
福島体育館附属合宿所	〃	〃	〃	〃
クライミングウォール	〃	指定管理	(財)福島県都市公園・緑化協会	平成18年4月1日より
荻野漕艇場	喜多方市	事務委託	喜多方市	〃

※事務委託(地自法第252条の14第1項)

イ 施設の利用状況

施設の利用状況は、次のとおりである。

施設名	利用状況	摘要
荻野漕艇場	漕艇	1,101 隻
	トレーニング室	989 時間

ふくしま海洋科学館

第1節 施設の概要

1 本館施設

(1) 場所：いわき市小名浜字辰巳町50番地

(2) 施設：鉄骨・鉄筋コンクリート造

ア 階数：地上4階建て

イ 高さ：34m（展望室）

ウ 敷地面積：56,265.1m²（駐車場含む）

エ 延床面積：13,701.81m²
（本館12,435.11m² えっぐ1,266.7m²）

オ 総水量：6,020t（メイン水槽：潮目の大水槽2,050t、
蛇の目ビーチ1,600t、BIOBIOかっぱの里430t）

2 ふくしま海洋科学館子ども漁業博物館

(1) 場所：福島県いわき市小名浜字栄町87番地の1

(2) 施設：鉄骨造、平屋建

ア 延床面積 450.64m²

3 水生生物保全センター

(1) 場所：いわき市小名浜字辰巳町47番地の1

(2) 施設：鉄筋コンクリート、鉄骨造

ア 階数：地上2階建て

イ 延床面積：925.09m²

※震災後未修繕により使用不可

4 海水取水・送水施設

(1) 場所：いわき市小名浜下神白字松下

(2) 施設：

ア ろ過送水棟：1棟180.04m²

イ 取水ポンプ棟：1棟84.43m²

ウ 取水管：182.2m

エ 送水管：2,875.9m

オ 揚水管：146.0m

5 展示生物の収集、畜養施設

当施設の「黒潮水槽」等において展示をしている大型魚類の採集・畜養を行うため、海上生け簀を借り上げている。

(1) 場所：鹿児島県大島郡（奄美大島）瀬戸内町

(2) 施設：生け簀

第2節 各種事業

1 展示事業

(1) 常設展示

展示のメインテーマを「潮目の海～黒潮と親潮の出合い～」としている。

「福島県の海」において、最も特徴的な事象である黒潮

と親潮の境界「潮目」をテーマとして取り上げ、豊かな生物相を中心とした潮目の海の自然、潮目の科学、人と海とのかかわり合い、そして地球環境問題まで幅広い分野を紹介した。

(2) 企画展示

来館者サービスと館の広報を兼ね、常設展示を拡充させるとともに、テーマを定めた展示を以下の内容で実施した。

ア 琉球弧～黒潮の島々をめぐる旅～
第9回：「辺野古の海」

期間：平成22年5月25日～継続中

概要：南西諸島の中で、大東諸島と尖閣諸島を除いた島々は、太平洋に背を向けた弓なりに曲がる弧状をなしていることから「琉球弧」と呼ばれ、島毎に固有の文化が育まれている。この企画展では、これらの島々の自然や文化を紹介した。

イ 千島列島～親潮の島々を巡る旅～

期間：平成23年10月19日～継続中

概要：親潮の源流域である千島列島の自然や文化を紹介する企画展。今回はサケをテーマとした展示を行った。

ウ 小名浜国際環境芸術祭

期間：平成23年9月17日～平成23年11月13日

概要：大漁旗をテーマとしたデザイン展、伊藤隆道氏の作品展、シーボーンアート展などの芸術作品の展示を通して環境保全のメッセージを発信するとともに、芸術による地域交流を図った。

エ キッズアート展

期間：平成23年9月17日～平成23年11月13日

概要：子どもたちが海の生き物の形にフィルムを切り抜き、壁面に貼る「キッズ壁画展」を開催した。

オ 海の男たちの盆栽展

期間：平成23年10月29日～平成23年11月6日

概要：黒松等の古木の迫力ある作品や秋の草花等による作品を展示した。

カ 干支展

期間：平成23年12月26日～平成24年1月23日

概要：干支の辰に因み、ドラゴンフィッシュを展示した。

キ 田井基文写真展「KIDZOO」

期間：平成24年2月11日～平成24年5月31日

概要：雑誌「どうぶつのくに」の写真家、田井基文氏が世界中の動物園・水族館を巡って撮りためた写真のうち、子どもたちが動物と触れ合う風景の作品を69点展示した。

(3) 飼育展示活動

ア 飼育困難生物の調査研究

本施設では、21世紀に相応しい特色ある施設づくりを目指し一環として、これまで飼育が困難とされていた水生生物の飼育実験を行い、その研究成果を展示している。そのため、以下の調査・研究を行った。

(ア) 飼育困難生物(水族館では飼育展示が困難とされている生物)の展示を可能にするための飼育研究

(イ) 福島県下に生息している生物の調査

イ 南方系生物畜養事業

奄美大島の海上生け簀にて、キハダ、カツオの畜養、搬入を実施した。

ウ 水生生物保全センター運営事業

(ア) サンマの飼育：駿河湾においてサンマ幼魚を採集、畜養し、本館に飼育展示を実施した。

(イ) 県内希少生物の繁殖：津波により流出したため、新規親の導入を行った。

(ウ) 水生生物保全調査：東京湾にてマルアオメエソの調査を行った。

(エ) 深海性生物の飼育：世界初となるヤエギスの展示を行った。

(オ) 水生生物の繁殖：ナメダングゴの繁殖賞を受賞した。

エ 飼育生物管理事業

本館収容生物(植物を含む)の展示及び飼育管理を実施した。なお、水生生物保全センターの再開には至らなかった。

オ 研究交流事業

(ア) 学会・研究会等

a 平成23年9月29日

日本魚類学会において、「飼育下におけるエゾイソアイナメの繁殖生態」の研究発表を行った。

b 平成23年10月28日

金沢工業大学で開催されたアクアマリンふくしま復活記念シンポジウムにて、「今よみがえるシーラカンスの世界～As A Key Animal of Motion Control～」と題して、講演を行った。

c 平成23年10月30日

当館において、「今よみがえるシーラカンスの世界～復活が生む進化学と工学の融合による豊かな願望～」と題し、アクアマリンふくしま復活記念公開講演を行った。

d 平成23年12月12日～13日

第4回水族館シンポジウムにおいて、「生物多様性と水族館～研究・展示・啓発活動」と題し、研究発表を行った。

e 平成23年12月20日～21日

日本動物園水族館教育研究会において、「ふくしまの子どもたちの未来のために」と題し、研究発表を行った。

f 平成24年3月31日

当館において、めひかりサミット、いわきサイエンスカフェ共同企画「よみがえれ私たちの海～海を調べる～」を開催した。

(イ) 論文掲載

Theriogenology 誌に「Temporal association of serum progesterone concentrations and vaginal cytology in walrus」と題した論文が掲載された。

2 学習支援事業

ふくしま海洋科学館では、『学習支援の基本的な考え方(指針)』(平成11年3月教育委員会策定)に基づき、下記のとおり実施した。

(1) 解説活動

子どもから大人まで多くの人々が、海の生物や環境について楽しみながら学び、考え、交流のできる施設をめざし、一般来館者を対象に次のような解説活動を実施した。

ア ごんベトーク

当館のシーラカンス調査やその成果について、映像やクイズを交えながら紹介した。

イ バックヤードツアー

ボランティアが解説者となり、水族館の仕組みや職員の飼育業務などについて紹介した。(9時30分～16時に随時開催、参加料無料 平成23年度実施回数2,617回 参加者合計17,637名)

ウ マリンシアター

当館のシーラカンス調査やアクアマリンふくしま紹介DVDなどのオリジナルハイビジョン映像4本を30分間隔で交互に上映した。

エ マリンガイド

展示生物に関する解説、トピックス情報の提供を行い、関心や興味を高めた。

(2) アクアマリンえっぐ命の教育事業

ア 生物多様性の展示

生物の中で一番種類の多い節足動物を展示するとともに、共生・群れ、擬態、進化の展示から生物多様性のメッセージを展開した。

イ えっぐワークショップ

貝殻などの自然物を使った簡単な工作物を作る体験を提供し、自然や生物に対する興味・関心を高めた。

ウ 自然体験ゲーム

展示生物の生態や体のつくりなどについて、参加者に気づきを促すゲームを行った。

エ その他

- (ア) ボランティアワークステーションにおいて、アクアマリンふくしまボランティアの会によるプランクトンの解説活動や、キッズコーナーにおける未就学児向けの「絵本の読み聞かせ」を実施した。
- (イ) 釣り堀では、魚の線量を掲示するなど、原発事故の風評等を考慮しながら運営した。

(3) 生涯学習・学校教育との連携事業

ア 館外授業（ゲストティーチャー・講師派遣）の実施
当館の職員を小中学校に派遣して授業を実施するゲストティーチャーを県内2カ所で実施し、100名を対象に講義を行った。

イ ガイダンス

当館に来館した学校団体を対象に施設の展示概要の紹介と館利用上の注意点等を解説するガイダンスを実施した。（10回実施、対象者数633名）

ウ 館内学習

当館の釣り堀を利用した命の教育、獣医の仕事の紹介、震災からの復興などをテーマとした学習を実施した。（24回実施、対象者数1,347名）

エ 移動水族館の実施

いわき市内の被災校で移動水族館を開催し、生物の観察や海の生き物に関するレクチャー、ハンズオン展示を実施した。（6月8日～15日で4回、参加者数1,321名）また移動水族館専用車両（通称：アクアラバン）を用いて小・中・高等学校等において移動水族館を開催した。（10月5日～11月11日間で計23回 参加者数2,823名）

オ 職場体験・インターンシップ・博物館学芸員実習の実施

中学校、高等学校、大学の生徒・学生を対象に業務体験をとおして職業観・勤労観の習得や進路指導の一環を目的とした実習を実施した。

(ア) 中学校・高等学校生徒の職場体験

2回実施 対象生徒数4名

(イ) 大学生のインターンシップ

1回実施 対象生徒数1名

カ 館内学習支援事業

いわき市内の小中学校を対象に当館のバスで児童を送り迎え、館内において学習活動を実施した。（小学校9校 307名）

(4) 情報提供事業

ア 情報コーナー

情報コーナー（2F）にて被災復興関連及び放射線関連の解説を行った。また、自由に利用・閲覧できる図書を整備し、利用者の学習を支援した。

イ インターネットによる情報提供

ホームページのトップページをリニューアルするとともに随時更新を行いながら、企画展やイベントの案内、さまざまな生物の紹介等を行った。また、ブログ、ツイッターを活用した情報提供を行った。

ウ 機関誌の発行

水族館活動をはじめ、生物や海に関するさまざまな情報を掲載した機関誌「AMF NEWS」を年3回発行した（発行部数5,500部/回）。

3 利活用促進事業

当館の特色を県内外に一層アピールするとともに、企画展開催の告知や誘客を図るため、各種媒体を活用した積極的な広報宣伝活動を展開した。

(1) 各種媒体等を活用した広報

ア テレビ・ラジオCMの制作

当館をテレビ及びラジオで広報する際に使用するCM放送素材を新たに制作した。

イ テレビCM

(ア) 夏休み向け：県内4局、宮城1局で放映した。

(イ) 冬季向け：新潟、長野、静岡、富山、石川、香川、岡山、広島各1局で放映した。

(ウ) 春休み向け：県内4局、宮城4局、新潟2局で放映した。

ウ ラジオCM

春休み向け：ラジオ福島、ふくしまFM、FMいわきで放送した。

エ 新聞

地元3紙及び隣県の地方紙などに、観光シーズンにおける誘客を目的とした広告を掲載した。

オ 旅行誌等

「るるぶ」（JTB出版）、「じゃらん」（リクルート）、「まっぷる」（昭文社）、「ぴあ」（ぴあ）のほか、高速道路SAで配布される「ハイウェイウォーカー」（東日本高速道路）にイベント開催の告知や観光シーズンにおける誘客広告を掲載した。

カ JR関係

電光掲示板

JR常磐線特急フレッシュひたち号において、電光掲示板を使って企画展開催の告知を実施した。

キ 看板

福島空港及びJR泉駅に広報看板等を掲出した。

ク その他

県内の新聞、情報誌においてパブリシティを活用した広報活動を積極的に展開した。

テレビの全国放送では、日本テレビ系「ミヤネ屋」、NHK「おはよう日本」、TBS系「ひるおび」、テレビ朝日系「モーニングバード」ほか多数の番組で当館の取組が放送され、当館のPRとなった。

(2) ポスター・パンフレット等の作成・活用

ア 館内案内リーフレット

再オープンに合わせて館内案内マップを改訂し、館内で配布した。

イ イベントポスター

県内外の公共施設等に配布・掲出した。

ウ 広報用リーフレット

県内外の観光施設、旅行エージェント、公共施設等に配布した。

エ イベントカレンダー

県内外の宿泊施設、旅行エージェント、公共施設等に配布した。

(3) 各種イベントへの参加・協賛

ア 「第21回いわきシーサイドウォーク」(後援)

イ 「うつくしま・みずウォーク2011」(後援、優待入館)

(4) 館内外における季節演出及び催事等の実施

ア 再オープンイベント(7月)

7月15日の再オープンに合わせ、イベントを開催した。

イ サマーイベント(8月)

午後7時まで開館延長し、コンサートや参加型イベントを実施した。

ウ 福島県民の日フェア(8月)

民俗芸能及び能の公演を行った。

エ クリスマスイベント(12月)

クリスマス期間の計3日、開館時間を午後7時まで延長し、参加型イベントやコンサート等を実施した。

オ お正月イベント(1月)

お正月プレゼント、生き物絵あわせ大会、フィギュア釣りを実施した。

カ 正月飾り(唐人凧)、門松の設置(1月)

キ ひなまつりイベント(2～3月)

つるし雛装飾、ちりめん細工教室を開催した。

(5) アクアラバンを活用した営業・広報宣伝

移動水族館専用車両(通称:アクアラバン)により県内外のイベントに出展し、営業・広報宣伝を推進した。
出展か所数 15か所 観覧者数 20,759名

4 地域交流事業

小名浜まちづくり市民会議への参加など、周辺地域との交流を深めるとともに地域振興に貢献した。

5 海洋文化学習振興基金事業

(1) 海洋文化推進事業

インドネシアにおけるシーラカンス研究協力機関に対し、震災被害の状況について説明するとともに、今後の調査継続に向けた協力を依頼し、次回調査のための諸手続を進めた。

10月28日に金沢工業大学虎ノ門キャンパスにて、国内研究協力者とともに「アクアマリンふくしま復活記念シンポジウム」を開催し、30日には当館において復活記念公開講演を行った。

(2) スクール開催事業

海の生物に親しみ、自然の事象について興味、関心を高めることを目的に、各種スクールを開催した。

ナイトプログラム

開催日	タイトル	対象学年	人数
9月17日	家族でナイトツアー	小～高+家族	30
10月1日 ～2日	親子で宿泊ナイトツアー	小4～6	28
10月22日	家族でナイトツアー	小～高+家族	28
11月12日	家族でナイトツアー	小～高+家族	28
12月10日	家族でナイトツアー	小～高+家族	28
12月28日 ～29日	親子で宿泊ナイトツアー	小1～3+親	36
1月28日 ～29日	大人の宿泊ナイトツアー	18歳以上	28
2月11日	家族でナイトツアー	小～高+家族	13
3月10日	家族でナイトツアー	小～高+家族	4

キッズプログラム

開催日	タイトル	個人	人数
12月23日	クリスマス工作教室	4歳～中学生	27
12月24日	クリスマス工作教室	4歳～中学生	27
12月25日	クリスマス工作教室	4歳～中学生	29
1月14日	タコ凧あがれ	小1～6	7
2月25日	アクアマリン探検	小1～3	12
3月24日	わくわく飼育体験	小4～中3	10
3月25日	わくわく飼育体験	小4～中3	6

(3) ボランティア等活動事業

アクアマリンふくしまボランティアの会による自主的、積極的なボランティア活動を通して、来館者の学習活動を支援するとともに、多様な交流を促進した。また、ボランティア活動者に対しては、資質向上のための専門研修を継続的に行い、本施設を自らの学習・実践の場として積極的に提供した。

第1期から第13期ボランティア更新者 207名

第14期新規ボランティア登録者 31名

登録者数(平成24年3月31日現在) 238名

(4) うおのぞき子ども漁業博物館整備事業

7月15日に本館と同時に再オープンした。原発事故で子どもたちの屋外での活動が制限されるなかで、館内に砂場や遊具で遊べる広場を設置して好評を得た。体験を通して漁業や海にふれあえるプログラムとして、「鯉節削り」や「伝馬船漕ぎ」、「魚餌やり」のほか、定期的な更新メニューとして「工作体験」を行った。また、魚食文化の普及のため、囲炉裏で干物を焼いて食べる「干物炭火焼体験」を実施した。

(5) 移動水族館事業

主催者からの要請に応じ、有料で移動水族館専用車を派遣し、計6か所で開催した。

第3節 月別入館者数

平成23年度における当館の入館者状況は次のとおりである。

月	開館日数	入館者数	個人	団体	無料
4月	0日	0	0	0	0
5月	0日	0	0	0	0
6月	0日	0	0	0	0
7月	17日	28,255	20,885	270	7,100
8月	31日	49,743	37,931	726	11,086
9月	30日	28,259	16,324	5,919	6,016
10月	31日	23,602	14,576	2,628	6,398
11月	30日	22,511	14,213	3,072	5,226
12月	31日	22,796	15,610	1,553	5,633
1月	31日	24,839	17,741	1,124	5,974
2月	29日	19,082	11,720	2,581	4,781
3月	31日	39,157	27,865	2,194	9,098
合計	261日	258,244	176,865	20,067	61,312

第4節 財団法人ふくしま海洋科学館の概要

1 財団法人の名称

財団法人ふくしま海洋科学館（設立当初の名称「財団法人ふくしま海洋学習館」。平成12年4月1日名称変更）

2 財団法人の目的

海洋生物及び海洋文化・科学に関する展示・研究並びに環境保全等に関する教育普及を実施するとともに、本県にふさわしい地域特性を生かした生涯学習の振興を図り、もって本県教育・文化の振興と生涯学習社会の実現に寄与する。

3 財団法人の事業

本財団法人では、設立目的を踏まえ、以下の事業を行う。

- (1) 海洋生物（その他の水族を含む）の収集、飼育、展示及び調査研究に関する事業
- (2) 海洋文化・科学に関する資料の収集、展示及び調査研究事業
- (3) 海洋に係る生物・文化・科学等に関する教育普及に関する事業
- (4) 海洋生物の保護及び保全の研究に関する事業
- (5) 福島県が設置するふくしま海洋科学館の維持管理に関する事業
- (6) ふくしま海洋科学館及び水族に関する広報宣伝等、利活用に関する事業
- (7) 物品の販売等に関する事業
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

4 基本財産

本財団法人は、県の社会教育施設を管理する組織となる性格に鑑み、設立の基礎となる基本財産については、県100%出捐の法人である。（出捐額 150,000千円）

5 組織（平成24年8月現在）

(1) 役員、評議員

ア 役員、評議員の人数

理事10名、監事2名、評議員11名

イ 役員及び評議員の任期

任期は2年とする。（現役員任期：平成26年3月31日）

(2) 事務局

ア グループ・チームの設置

事務局に事業調整グループ、地域交流グループ、命の教育グループ、環境展示グループ、環境研究所、シーカンス研究所、デザイン研究所を置く。事業調整グループに事業調整チーム、環境維持チーム、地域交流グループに企画展示チーム、観光チーム、おいしい水族館チーム、ミュージアムショップチーム、命の教育グループに命の教育チーム、うおのぞきチーム、アクアラバン動く教育チーム、環境展示グループに潮目の海チーム、環境展示チーム、環境研究所に環境研究所ITチーム、動物健康室、弁財天うなぎプロジェクトチーム、シーカンス研究所に海外調整担当チーム、生命の進化チームを置く。

イ 職員の人数

平成24年度の事務局体制は、館長（理事長兼務）、副館長（常務理事兼務）を含め、正規職員数（定数）46名。この外、臨時的な職員を別に置く。

ウ 職員の身分

	財団職員	県派遣者
館長	1	
副館長	1	1
事業調整グループ	6	2
地域交流グループ	10	0
命の教育グループ	6	3
環境展示グループ	11	0
環境研究所	2	0
シーカンス研究所	3	0
デザイン研究所	（委嘱）	0
計	40	6

エ 役員、評議員名簿（敬称略）

【理事長】

ふくしま海洋科学館館長	安部 義孝
-------------	-------

【理事】

福島県企画調整部文化スポーツ局長	小松 信之
いわき市長	渡辺 敬夫
元日本魚類学会会長	上野 輝彌
東京農業大学教授	谷口 旭
武蔵野美術大学名誉教授	森 豪男
(株)生活構造研究所代表取締役特別顧問	松川 淳子
いわき商工会議所副会頭	大兼 勝彦
いわき明星大学教授	神山 敬章
ふくしま海洋科学館副館長	橋本 幸洋

【監事】

いわき経営者協会会長	鷲 佳弘
福島県企画調整部企画調整課長	御代 典文

【評議員】

いわき市行政経営部長	前田 直樹
東京都葛西臨海水族園園長	西 源二郎
(財)日本交通公社研究調査部部长	梅川 智也
(社)いわき青年会議所理事長	丹野 知
小名浜まちづくり市民会議会長	作山 栄一
小名浜機船底曳網漁業協同組合 代表理事組合長	野崎 哲
童謡のまちづくり市民会議会長	九頭見 淑子
冷泉寺 住職	酒主 照之
F Mいわきパーソナリティー	馬場 典枝
福島県企画調整部文化スポーツ局次長	高野 浩二
アクアマリンふくしま ボランティアの会会長	佐久間 昭

福島県文化センター

第1節 概要

福島県文化センターは、県民の文化振興を図るために設置されたもので、福島県文化会館及び福島県歴史資料館の2つの施設をもって構成されている。

この文化センターの管理運営は、県が財団法人福島県文化振興事業団に委託し、同法人はこの施設の設置目的に沿って県民の文化活動の場としてその利用に供し、利用者の便宜を図るとともに、各種の文化事業を展開し、あるいは歴史、文化関係資料の収集、整理、保管、調査研究を行っている。

1 業務内容

福島県文化センターを構成する施設の業務内容は、概ね次のとおりである。

(1) 福島県文化会館

- 文学、音楽、演劇、舞踊等の芸術の振興に関すること。
- 社会科学、自然科学等の学術の振興に関すること。
- 文化会館の施設及びその付属設備の利用に関すること。

(2) 福島県歴史資料館

- 県に関する文書資料、考古資料、民俗資料、その他の歴史資料に関する調査研究及びその利用に関すること。
- 歴史資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。

第2節 施設の概要

所在地 福島市春日町5-54
敷地面積 20,592㎡
建築面積 4,951㎡
建築延面積 12,400㎡
構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造り 地下1階、地上3階、塔屋1階
竣工 昭和45年7月31日

1 福島県文化会館

地階 中央監視室、空調・電気機械室、奈落
1階 大ホール(1,752席)、小ホール(379席)、リハーサル室(107㎡)、和室(20畳2室)、楽屋(4室)、浴室、視聴覚室(108席)、会議室、事務室、収蔵庫など
2階 会議室兼展示室(466㎡)、託児室(42㎡)など
3階 展示室(505㎡×2室)、ギャラリー(366㎡)、事務室、倉庫など

2 福島県歴史資料館

1階 展示室(180㎡)、事務室
2階 事務室、研究室、閲覧室、文書庫(252㎡×3)など
3階 文化財収蔵庫(455㎡)

第3節 事業の実施状況

平成23年度に福島県文化センターが実施した事業の概要は、次の通りである。

1 管理運営事業

平成23年度における福島県文化センターの利用状況は、次のとおりである。

なお、福島県文化会館は東日本大震災の被害及び震災復旧・耐震改修工事により4月1日から8月12日まで、及び平成24年1月5日から3月31日まで休館した。8月13日から12月27日までは小ホールや2階会議室等被害の少なかった施設の貸し出しを行った。

同じく、福島歴史資料館は4月1日から5月8日、及び平成24年2月27日から3月31日まで休館した。

(1) 福島県文化会館

施設名	大ホール		小ホール		視聴覚室		1F会議室		会議室兼展示室		3F展示室		3Fギャラリー		館外	合計	
	回数 日	入場 者数	回数 日	入場 者数	回数 日	入場 者数	回数 日	入場 者数	回数 日	入場 者数	回数 日	入場 者数	回数 日	入場 者数		回数 日	入場 者数
年間合計	-	-	51	11,390	13	650	53	750	24	47	-	-	-	-	41,804	196	59,999
稼働日数	-	-	74		16		46		54		-		-				
稼働率%	-	-	55		12		34		40		-		-		開館日数	135	

(備考)

- ・自主事業の分も含む。
- ・大会行事や美術展で数日間使用した催しは1回とした。
- ・大会に伴う分科会などで、一つの催しに複数施設を使用した場合の人数は、主となる施設に計上した。
- ・合計日数は延べ日数で表す。例えば、1日に別の催し物が2件あった場合は2日とした。
- ・準備・リハーサルは公演日(本番)とは別の日に使用したもので、利用者とはみなし入場者数も計上した。
- ・開館日数は休館日及び工事などの使用不可能日を除いたものとした。
- ・稼働率は稼働日数÷開館日数×100(%)で表わす。

(2) 福島県歴史資料館

ア 利用状況

種別	利用件数	同冊(点)数	内 容
閲覧利用	844	2,717	会社員・公務員・教員・学生・研究者等
特別貸出利用	3	46	福島市教育委員会・川俣町等
施設利用	2,930	-	入館者

イ 資料収蔵状況

種別	搬入	搬出	合計(累計)	内 容
文書資料	495	4,067	205,052	県及び諸家寄贈・寄託資料
文献	0	0	44,936	寄贈・購入等

2 文化情報の発信

県民それぞれが、それぞれの価値観に基づいて主体的に文化活動に参加し豊かな人生を楽しむことができるよう、文化情報誌の発行と、インターネット・ホームページによる文化情報の提供事業を実施している。

(1) 文化情報誌『ふくしま文化情報』の発行

編集方針：本県の文化行事に関する情報を幅広く収集し、広く県民に提供する。写真を多用して見やすい誌面構成に努めている。

発行部数：年10回、各号5,000部

内容：今月のお薦め催事を写真入りで紹介する「今月のピックアップ」、県内各地の文化イベントの中から、地域の特色を生かした行事に注目し、写真入りで紹介する「イベントアラカルト」など

配布先：県内の市町村教育委員会・公民館・高校・大学・文化施設・文化団体・報道機関。
その他、避難者へ各種情報を提供している「ふるさと絆情報ステーション」にも配布している。

(2) インターネットによる情報提供

文化センターホームページには『ふくしま文化情報』に載せている県内の文化イベント情報をさらに充実させて掲載している。「音楽」「展示」「演劇・舞台」「講演・講座」「自主上映」及び「その他」のジャンルごとに常時300件前後を掲載している。また、これらの情報にはなによりも新鮮さが要求されることから、各種文化団体や文化施設と連絡を密にし、情報をいち早く入手して毎週(1回)更新を実施している。

また、当事業団が管理運営する各施設の企画事業情報及び県内の文化イベント情報を編集し、「福島県文化振興事業団メールマガジン」として毎月1回配信している。

3 歴史資料館事業

事業名	期日・開催場所等	目的及び内容等	入場者数
収蔵資料展「公文書でみる明治時代」	8月20日～12月4日 県歴史資料館展示室	公文書管理法施行の意義を伝えるため、明治天皇巡幸、福島県の成立、安積開拓、自由民権運動・県議会、自然災害、博覧会・共進会、お雇い外国人などをテーマとして明治時代の福島県庁文書を展示。	1,189名
収蔵資料展「新公開資料展2011」	1月14日～2月26日 県歴史資料館展示室	2011年3月に刊行した『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第42集に収録された大内史之家文書、関府市家文書、杉内重義家文書から、旅日記、養蚕関係資料、近世・近代の典籍などを展示。	118名
古文書講座①～④	①10月1日 ②10月8日 ③10月15日 ④10月29日 県文化センター小ホール	古文書解読初心者を対象とする講座。「武家の文書から地域を読む」をテーマに、米沢藩の漆・茶木栽培規定、上飯坂村庄屋堀切家と県内諸藩などの関係を示す古文書を解読。	① 70名 ② 68名 ③ 67名 ④ 68名
フィルム上映会	①9月22日 ②10月16日 ③11月5日 県文化センター視聴覚室	①『伊那人形芝居－明日へつなぐ伝承のチカラ』、『クチャ【仮小屋】』 ②『阿武隈川舟運の歴史』、『鬼の河・福島編』、『文楽に生きる 吉田玉男』 ③『稲と心－東北の農事信仰－』、『西出大三 截金の美』	① 23名 ② 37名 ③ 16名
歴史資料館友の会行事	5月～11月 計5回	総会、友の会講座、展示見学会、歴史散策、研修旅行などの実施を支援。	会員約170名
校外学習協力	4件（18日間）	中学校、大学等の生徒の校外学習、インターンシップ、博物館実習への協力。	39名
生涯学習協力	2回	公民館等の生涯学習講座への講師派遣協力。	86名
地域史研究講習会	11月12日 県文化センター2階会議室	「戊辰戦争期の陣地跡と史料（小暮伸之）」、「東日本大震災からの史料保全活動（阿部浩一）」、「過去の歴史地震・災害に学ぶ－9世紀の陸奥国と出羽国－（柳澤和明）」の三本の講習を実施した。	103名

4 受託事業

事業名	期日・開催場所等	目的及び内容等	入場者数
次代を担う子どもの文化芸術体験事業（派遣事業） 【東日本大震災復興支援対応】	8月21日～24年2月15日 学校派遣113ヶ所、139回 共同鑑賞7ヶ所	東日本大震災により被害を受けた地域の子どもたちへ文化芸術活動を提供する事業。実行委員会を立ち上げて文化庁からの委託を受け、学校や文化施設等へ音楽、演劇、伝統芸能等7分野の講師を派遣した。	合計22,800名
福島県緊急雇用創出基金事業	4月～24年3月	福島県からの受託事業として、失業者を雇用し、県庁行政文書の文書綴り再編作業200冊、目録カード作成及び電子データ入力作業5,037点の文書整理作業を実施した。	-
東日本大震災等収集保存活用事業	11月～24年3月	福島県からの受託事業として、東日本大震災の体験・記憶・記録・教訓を次世代に伝えるため、震災体験にかかる証言映像収録106件のほか、記録画像約5,000点、関連資料86点を収集した。	-
新しい文化の風交流事業	12月17日、24年1月22日、2月18日 郡山市男女共同参画センター	県内在住の高校生と県芸術文化団体連合会会員との情報交換及び交流をとおして本県文化の担い手育成を目的とした事業で、福島県からの委託を受けて県内高校の文芸部員を対象に3回の俳句ワークショップを実施した。	合計81名

事業名	期日・開催場所等	目的及び内容等	入場者数
新しい文化の風交流事業	24年3月25日～3月29日	海外文化団体と福島県芸術文化団体連合会会員との情報交換及び交流をとおして、本県文化活動の担い手育成を目的として、福島県からの委託を受けて第5回声楽アンサンブルコンテストにアメリカから参加した合唱団と県内文化団体の交流事業を実施した	

5 文化事業

(1) 自主文化事業

区分	事業名	期日・開催場所等	目的及び内容等	入場者数
舞台芸術等鑑賞	キッズシアター	6月8日～22日 県内6市町 6日間 8回公演	児童の情操涵養をねらいとした舞台芸術鑑賞事業。県教育委員会、開催地教育委員会との共催による移動事業として実施した。	63校5,037名
	ファミリーシアター	〈児童劇公演〉 5月17日～9月22日 県内8市町村14公演 〈音楽公演〉 5月30日～11月18日 県内6市町村24公演	本格的な文化施設を有しない地域の子どもたちや、震災で避難している子どもたちのために、生の舞台芸術の巡回公演を実施した。 児童劇演目／「リーダーズシアター」楽劇団いちよう座、「江戸写し絵」劇団みんな座 音楽演目／「神田将 ひとりオーケストラ」	児童劇3,603名 音楽5,516名 合計9,119名
	名作シネマ	6月1日～7月3日 4日間4回上映 あづま総合体育館他	避難されている方々のために無声映画会を実施した。 上映作品「鞍馬天狗」「伊豆の踊り子」	合計130名
		10月24日、25日 2日間4回上映 文化センター小ホール	国立東京近代美術館フィルムセンターとの共催により文化庁優秀映画鑑賞推進事業を実施した。 上映作品「不知火検校」「次郎長三国志」他	合計280名
	子ども映画会	4月16日～8月28日 20日間28回上映 文化センター小ホール他	震災で避難している子どもたちや、原発事故により屋外活動が制限されている子供たちのために映画会を実施した。	合計1,261名
	マイホールコンサート	5月7日・8日 ビックパレットふくしま他	震災で避難している方々のために、過去のマイホールコンサートに出演したことのあるミュージシャンによるコンサートを実施した。	合計200名

(2) 福島県文化センター開館40周年記念事業

「ふくしま発信」出版事業	平成20・21年度に実施した「ふくしま発信！“天地人”の時代—ふくしまと直江兼続—」の成果を発行、頒布した。		
--------------	--	--	--

(3) 共催事業

事業名	期日・開催場所	主管団体等	入場者数
ホルン・コンサート	5月22日・23日、7月21日～23日国立磐梯青少年交流の家他避難所2ヶ所・福島市内中学校4校	東谷慶太	合計309名

第4節 財団法人福島県文化振興事業団の概要

1 財団法人の名称

財団法人福島県文化振興事業団

2 事業団の目的

芸術文化の振興及び文化財等の調査研究、保存、活用等を図り、もって県民の教育、学術及び文化の振興に寄与する。

3 事業団の事業

- 文学、音楽、演劇、舞踊等の芸術文化事業
- 文書、考古、民俗等の歴史資料の収集、研究、整理保管及び研修に関する事業
- 埋蔵文化財の調査、研究、整理及び保存等の事業
- 文化財保護の教育普及並びに文化財の展示、保管及び研修に関する事業
- 委託を受けた文化センター及び文化財センター白河館の管理運営
- 物品販売等に関する事業
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 組織(平成24年3月31日現在)

(1) 役員、評議員

理事9名及び監事2名、評議員10名

(2) 組織体制

- ・福島県文化センター(総務課、事業課、歴史資料課)
- ・福島県文化財センター白河館(総務課、学芸課)
- ・遺跡調査部(遺跡調査課)

となっており、職員は57名となっている。

役員名簿		(平成24年3月31日現在)
職	氏名	現職
理事長	富田 孝志	福島県文化センター館長 福島県歴史資料館館長
副理事長	渡邊 和裕	福島商工会議所副会頭 福島市観光物産協会会長
理事	菊池 徹夫	福島県文化財センター白河館長 一般社団法人日本考古学協会会長 早稲田大学名誉教授
〃	小野 利廣	白河地区経営者協会会長 福島県南土建工業(株)代表取締役
〃	新城猪之吉	末廣酒造(株)代表取締役社長
〃	須佐由起子	元福島県教育委員会委員長
〃	高萩阿都志	(株)タイヘイドライバーズスクール 代表取締役社長
〃	平田 公子	国立大学法人福島大学 人間発達文化学類教授
〃	山口 哲子	宇都宮文星短期大学教授
監事	齋藤 忠	公認会計士
〃	芳賀 裕	司法書士

評議員名簿		(平成24年3月31日現在)
氏名	現職	
五十嵐乃里枝	元三島町生涯学習課社会教育指導員	
石河 清	元いわき短期大学教授	
伊藤 喜良	国立大学法人福島大学名誉教授	
懸田 弘訓	県文化財保護審議会委員	
齋藤美保子	郡山女子大学短期大学部准教授	
澤田 修	企業組合劇団風の子東北代表理事	
宗田利八郎	倉美館(棚倉町文化センター) 運営協会監事	
新妻 香織	NPO法人フー太郎の森基金理事長	
馬目 順一	いわき市教育委員会委員長	
湯浅 孝子	財団法人湯浅報恩会会長	

*五十音順

